



社会福祉法人伸こう福祉会



報告対象期間 2017年4月から2018年3月

発行 2018年3月

発行責任者 足立 聖子

本誌へのお問い合わせ

伸こう福祉会 本部事務所

〒232-0011 神奈川県横浜市南区日枝町1-5 4階

TEL : 045-260-0568 FAX : 045-260-0570

<https://www.shinkoufukushikai.com>

SHINKO FUKUSHI KAI

ANNUAL REPORT

2018

目次

理事長メッセージ
P3

私たちの理念
P4

ハイライト：中期計画Ⅱ期
【「地域」との協働】
品質方針
「つながる つなげる」
P6

伸こう福祉会の事業
P12

保育
次世代を担う子どもたちと
働く保護者の支援
P14

地域の窓口
地域の福祉・保健に関する
よろず相談窓口
P16

高齢者介護
ご自宅にしながら利用できる
サービス
P18

高齢者介護
「暮らし」を提供するサービス
P20

DATA
P22

CSRに基づく
伸こう福祉会
の取り組み
P27

人権
P28

労働慣行
P29

環境
P30

公正な事業慣行
P31

消費者課題
P32

コミュニティへの参画
・および発展
P33

メディア掲載一覧
P34

外部講演一覧
P35

財務ハイライト
P36

施設一覧
P38

ご寄付のお願い
P47

MESSAGE

FROM EXECUTIVE HEAD

これからの時代、
「支援する側」と「支援される側」の境界が曖昧になり、
様々な個性を持った人が活躍する社会へと
進化していきます。

東京オリンピック、パラリンピックの開催が、いよいよ数年後に迫ってきました。
この「世紀のイベント」は、私たち日本人の生活や考え方に様々な意味で変革をもた
らすと、私は考えています。

そのひとつが「インバウンド」と呼ばれる、海外からの来訪者の増加です。
多くの国と地域から訪れる方との出会いを通じて、私たちは日本古来のしきたりや文
化、そして生活の有様が、世界からどのように評価されているのかを知ることができます。

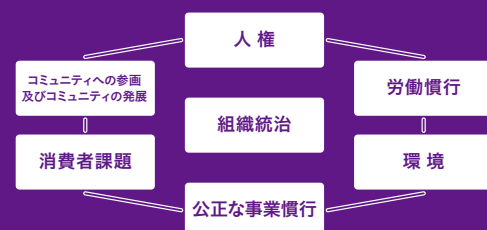
またパラリンピックを通じて、多くの障害と共に生きるアスリートが自身の持つ能力を
最大限まで鍛え、挑戦し続ける姿を目にすることで、私たちは、障害も「個性」であり、
そこには無限の「可能性」があること学ぶことでしょう。

そして「人生100年時代」を迎え、もはや「リタイア」する年齢は自身で決める世の中に
なってきました。
多くの高齢者が社会の活動に参加し、そして最後まで人生を謳歌するのです。

これからの時代、「支援する側」と「支援される側」の境界は、どんどん曖昧になってい
きます。
様々な個性を持った人が活躍する社会へと進化していくのです。

そんな進化の途上である現在、私たちが社会に提供できることはなんだろう？
そんな思いで新しいことに挑戦し続けた、今年の取り組みをご紹介します。

本報告書では、社会的責任の国際規格ISO26000における7つの中核主題
(右図)の視点を組み入れた構造で、皆さまへの報告を行っております。
主題と報告事項との関連については、P27～33をご参照下さい。



社会福祉法人 伸こう福祉会
理事長

足野聖子

PRINCIPLE

たくさんのよきものを人生の先輩たち、 後輩たち、そして地域に捧ぐ

私たちは、「保育」と「高齢者介護」、「障害者支援」という仕事を通じて、
お客さまの人生の「最初」から「最後」までのお手伝いをさせていただいています。

子育てと仕事を両立している方、
年齢を重ねた方、
病や障害と共に生きる方、

そんな様々な背景が不利にならずに、
「自分が選んだ場所で、社会とともに成長をし、
自分が選んだ生き方で最後を迎えられる」こと。
それが、私たちが考える「しあわせ（福祉）」であり、
私たちのお手伝いが目指すところです。

「たくさんのよきもの」を、私たちに関わって下さる皆さまに捧げることで、
より「しあわせ（福祉）」な生活を送れるように。
そんな思いの中で取り組んだ、2017年度の活動をご報告いたします。



迫る「2025年問題」を見据え、伸こう福祉会では2013年に中期計画を策定しました。

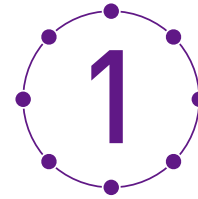
I期のテーマであった【「人」づくり(スタッフの育成)】を土台に、2016年度から始まったII期で重点的に取り組んできたのは、【「地域」との協働】です。

2017年度は、法人内組織をこれまでの保育事業・高齢者介護事業・障害者支援事業と法律の枠組みで分けていた事業部制から、よりご利用者の暮らしを意識した連携が取れるよう、事業所の所在地で区切るエリア制に移行し、「つながり」を意識して取り組んできました。

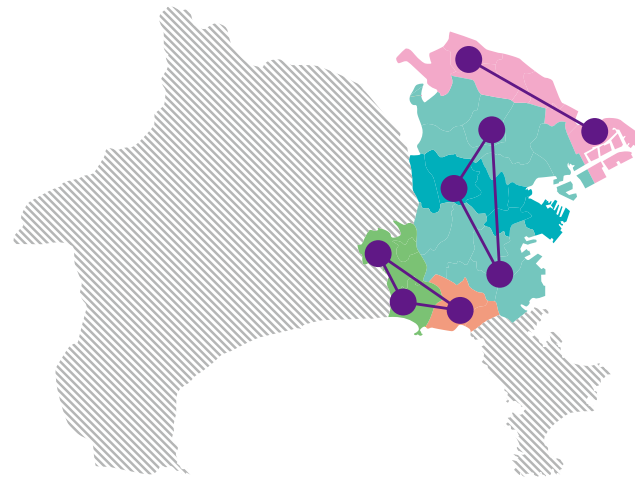
3年ごとのテーマ



つなげる
つなげる



地域とつながる

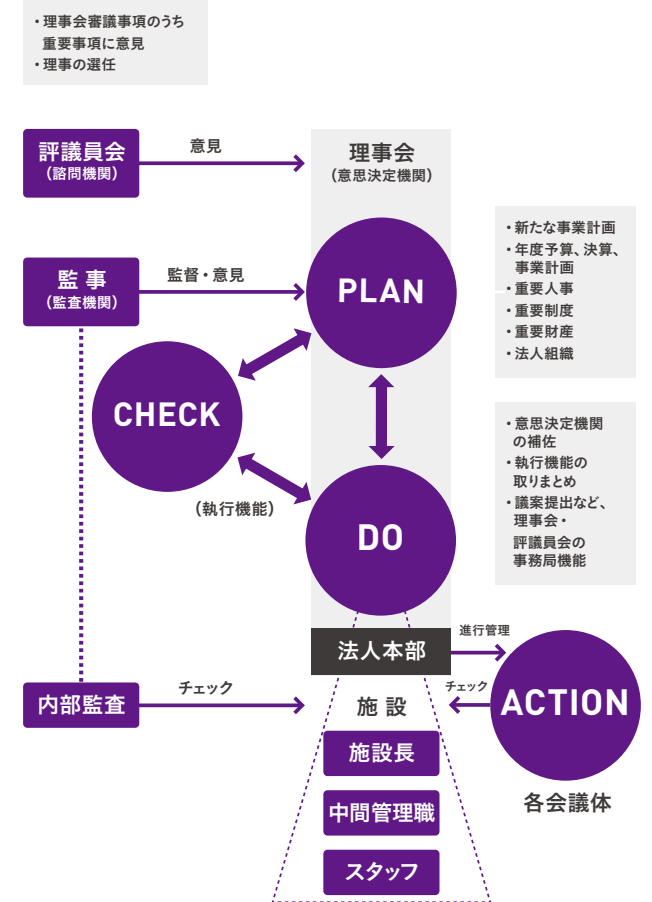


「事業部制」から「エリア制」へ

2017年度は神奈川県内を8つのエリアに分け、連携体制を強める「エリア制」を新たに導入しました。このことにより、地域の情報を共有したり、子どもと高齢者の世代間交流を深めたり、在宅での生活が難しくなってきたご利用者へ事業所同士が連携してスムーズに入居施設に住み替えたりと、これまで事業所単位で持っていた情報や資源をつなげやすくなり、「地域で暮らすお客さま」を包括的に支援できる体制となりました。

「経営計画書」を用いて方針を共有する

法人の理念や守るべき約束、今期の実行計画や予算を記した「経営計画書」を作成しています。経営計画(Plan)を基に、サービスを実行し(Do)、監査によるチェック(Check)の上、各会議体において、サービスの改善に励んでいます(Action)。
本レポートは、「第20期 経営計画書」に基づき報告を行うものです。



「方針」を伝えるツール

基本理念を実践するための方針をまとめた冊子「2017年度 品質方針書『Staff Book 2017』」を制作し、全スタッフに配布しました。本書には、今年度重点的に取り組む品質方針や、スタッフとして必ず守ってもらいたいこと、業務の基準などが記されています。全スタッフが内容を理解できるよう、研修の際には本書をテキストとして使用しています。また、外国籍スタッフに配慮し、4ヶ国語(日本語・英語・スペイン語・中国語)表記で制作しています。



つなげる つなげる 2 社会へつなげる

伸こう福祉会では、自治体や研究機関、メーカー、学校など、他業種と積極的につながりを持つことで、よりよい福祉サービスの研究や商品の開発に協力しています。



経済産業省「ヴィンテージ・ソサエティ・プラットフォーム形成事業」に参画

「人生100年時代」を生きる人々が、生涯を通じ、自身の価値観やライフステージに合わせて柔軟に働き・学び・遊び・活動し続けられるような社会システムデザイン及びそれを可能にするサービスイノベーションを構築するために経済産業省が進める「ヴィンテージ・ソサエティ・プラットフォーム形成事業」。本事業の推進事業者として、伸こう福祉会が2017年9月に採択を受けました。

伸こう福祉会が担うのは、本事業の事務局機能及び高齢者施設における実証実験「川崎リビング・ラボ」の運営です。「川崎リビング・ラボ」では、特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」及び施設がある「河原町団地」を対象に、日本を代表する企業や研究者が最先端の製品・技術・サービスを福祉の現場に持ち寄り、研究を重ね、社会にとって新たな価値となるものを生み出していきます。

推進体制



役割	メンバー組織	業務内容
事務局	社会福祉法人伸こう福祉会	コンソーシアムの統括・管理に関わる事務経産省との連携並びに関係者間の調整
デザイン・リサーチ	株式会社ロフトワーク	コンセプト形成、リサーチ
リビング・ラボ（実証実験）	アールアンドディーアイスクエア株式会社（鶴岡） 株式会社地域協働推進機構（所沢） 社会福祉法人伸こう福祉会（川崎） ※先行事例として東京家政大学（狹山）と適宜連携	各コミュニティにおける市民を対象としたリサーチや実験の実施支援
フューチャーセンター	一般社団法人Future Center Alliance Japan（FCAJ）	フューチャー・セッション※1の実施 ENOLL（European Network of Living Labs）との連携
現場データの収集/分析	国立研究開発法人産業技術総合研究所「平成29年度商取引適正化・製品安全に係る事業」との連携	リビング・ラボでの行動データ等の収集/分析



「仕事」を通じた健康寿命延伸への取り組み

経済産業省による「平成29年度健康寿命延伸産業創出推進事業（地域の实情に応じたビジネスモデル確立支援事業）」に「仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業」を提案・採択され、野菜の生産・販売や「老人ホーム内の諸業務への就労」を通じて老人ホームに入居している高齢者が収入を得られる仕組みづくりを進めています。本事業では、東レ建設株式会社が開発した高床式砂栽培農業施設「トレファーム®」を利用し、株式会社グリーンファームかずさから営農支援をもらいながら、伸こう福祉会のご利用者に「アクティビティ」ではなく収入を得る「仕事」として野菜の生産・販売の機会を提供しています。

2017年12月18日に第1回目の種蒔きを行い、2018年2月24日にイオンリテール株式会社ご協力のもと最初の販売を行いました。ご利用者にとって、仕事をして対価を得ることで「社会的役割の維持」と、身体を動かすことでの「身体機能の維持」両面での効果を期待し、「QOL（クオリティオブライフ、暮らしの質）の維持向上」を目指しています。

他業種との連携の実績

共同開発企業名	概要	業務内容	導入施設
㈱ハッチ	寝具「ウイングシーツ」の開発	2013年2月1日ウイングシーツ販売開始。共同ブランドバセーム完成。枕の開発に取り組む。	全施設
㈱日本アレフ	離床センサー「ルナナース」の開発	人感センサー型離床センサー「ルナナース」の開発・発売。見守りの時間の一部をセンサーで行うことで介護職員の負担軽減と生産性向上が可能となる。	クロスハート 栄・横浜 クロスハート 幸・川崎
㈱グローバルインターフェイス	オンライン介護記録管理システム	介護記録をIPADに入力。多職種間での情報交換や申し送りが簡便になった。過去のデータ検索も簡単になった。	クロスハート 幸・川崎
㈱グローバルインターフェイス	オンライン介護スキルチェックシート	介護スキル評価をオンラインでできるようになった。現在さらにブラッシュアップ中。	全介護施設
㈱ボナンザ	全身シャンプー	髪にも身体にも使える全身シャンプー。外販はしていない。植物系洗浄成分使用。	クロスハート 幸・川崎 クロスハート 野七里・栄
産業技術総合研究所	kinekuto（キネクト）カメラ	居室にカメラを設置し、高齢者のインシデント・アクシデントの様子を記録し、発生原因を探る。現在進行中。	

ユニ・チャーム株式会社の「子ども用マスクの有効性について検証」に協力

保育園では、風邪やインフルエンザの時期になると、一斉に感染が広がる傾向にあります。対策として大人はマスク装着の習慣が定着しつつありますが、子どもにはまだあまり浸透していません。そこで、ユニ・チャーム株式会社より依頼を受け、子どもの顔寸法に適したサイズのマスクを装着・継続使用することにより、子供におけるマスクの感染症予防の有効性についての検証を行いました。

- ① 登園時に、家を出るところから着用
- ② 国内では、歌ったり食事をしたり、たくさん話をしたりするとき以外は着用
- ③ 汚れたら予備のマスクにチェンジ
- ④ 帰宅時もマスクを着用

つなげる つなげる 3 海外とつなげる

伸こう福祉会では、本部機能に「国際担当」を設け、積極的に海外から「よきもの」を輸入し、日本の「よきもの」を輸出するための取り組みを行っています。



台湾 亞州大学との連携

日本の介護について学ぶため、2016年度に友好協定を結んだ亞州大学から看護学生が研修に来日しました。4週間の研修では、施設見学の他、日本の介護保険制度の説明、実技研修を社内の中国人スタッフを交えて行いました。



中国 CBCとの連携

CBC株式会社を通じて中国企業が運営する老人ホームに「クロスハートの介護」を伝えるため、スタッフが中国南京へ3か月間出向し、マニュアル作成、実技の指導を行いました。現在までに第2期を終え、今後、第3期の支援プロジェクトが予定されています。



アメリカ The Encorepreneur Cafeとの連携

ポートランドにて「働くこと」をテーマにしたデイサービスを行う「The Encorepreneur Cafe」を開所しました。Cafeを利用するアメリカの高齢者と日本の高齢者が交流できる仕組みをつくり、互いに学びあえる機会を提供することを目指します。



海外からの視察の受け入れ状況

国名	人数	来訪者
中国	45 (8)	行政、大学、 専門学校、病院、 介護施設運営者、 技能実習生 送り出し機関など
台湾	18 (2)	
韓国	17 (1)	
シンガポール	5 (1)	
ベトナム	5 (1)	
チェコ	3 (1)	
オーストラリア	2 (1)	
モンゴル	2 (1)	
アメリカ	1 (1)	

国名	期間	人数	受講者
台湾	2ヶ月	4	大学生、 病院勤務者、 EPA研修生 など
オーストラリア	1週間	4	
フィリピン	1日×3回	60	
合計	-	68	

つなげる つなげる 4 新規施設の開所

横浜市南区に新たな障害者グループホームを1ヶ所、戸塚区に就労支援事業所を1ヶ所開所しました。



クロスハートハイツ南太田

生まれ育った地域で暮らすこと、「一人一人の主体性を重視した暮らしを実現すること」を目的に、世話人・生活支援員等がご利用者の共同生活を支援します。

施設概要

事業形態／共同生活援助（グループホーム）
対象年齢／高等学校卒業～
定員／4～10名 開所日／2017年11月



「クロスハートハイツ南太田」と昨年度開所した「クロスハートハイツ東蒔田」は、IKEA BUSINESS がインテリアコーディネートを担当しています。「福祉施設はこうでなくてはならない」という既成概念にとらわれず、家庭的でかつ気持ちが明るくなる雰囲気を目指しました。

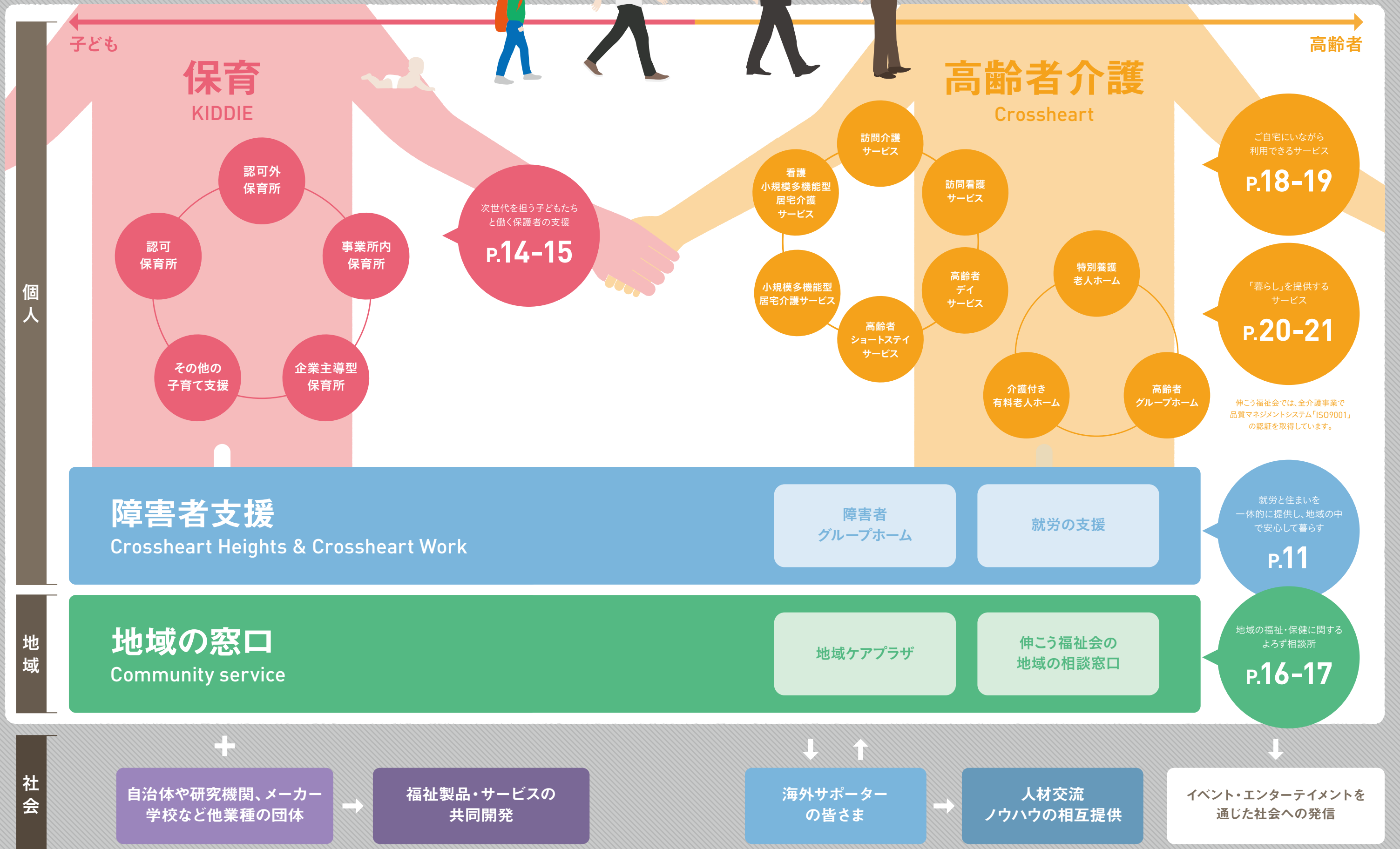


クロスハートワーク戸塚

障害により企業での就労が困難な方へ、パンづくりや名刺・封筒印刷、清掃作業などの障害特性に合った就労の機会を提供しながら、知識及び能力の向上を図る場です。

施設概要

事業形態／就労・就労継続支援B型
対象年齢／高等学校卒業～
定員／14名～ 開所日／2017年7月



保育

次世代を担う子どもたちと働く保護者の支援

2007年に「キディ鶴沼・藤沢」が開園してから10年。
これまで、多くの子どもたちが卒園する姿を見送ってきました。
小学生になっても、大人になっても、心のどこかにキディで過ごした日々が残ってくれること以上に嬉しいことはありません。これからも、子どもたちの「最初の大切な時間」を預かっている気持ちを忘れず、保護者や地域の方と共により良い保育を取り組んでいきます。



2018 TOPICS

クロスハート湘南台二番館の施設内保育所を地域と共同利用に

2017年7月1日、これまでは法人内で働くスタッフのために設置していたクロスハート湘南台二番館内の施設内保育所を、地域の方も共同利用できる「企業主導型保育所」へ転換しました。藤沢市の待機児童者数は2017年4月1日時点で148人。市の取り組みによって減少傾向にありますが、まだまだゼロには遠い数です。

老人ホーム内にある保育所という利点を活かしながら、子どもも保護者も安心して預けられる場所になるよう励んでいきます。



伸こう福祉会の 保育事業



認可保育所

認可保育所（8ヶ所）

仕事や病気などの理由で家庭において十分保育することができない0歳～小学校就学前の子どもを、保護者にかわって保育をする施設です。市から設置認可がおりていて、入園に関する諸所の手続きは各市が行います。一部の認可保育園では、休日保育も行っています。

認可外保育所

川崎認定保育園（1ヶ所）

待機児童の解消を図るとともに、認可保育所では対応できない利用者の多様な保育ニーズにも応えるため、川崎市が定めた一定の基準を満たした保育施設として認定された保育園です。保育を必要とする子どもが、保育所保育指針に基づく良好な保育を受けることを目的とした園である点では、認可保育園との違いはありません。

地域子ども・子育て 支援事業

各地域のニーズに合わせ、以下の事業を行っています。

地域子育て支援拠点事業（1ヶ所）

横浜市補助事業の「親と子のつどいの広場」として、保護者の育児にかかる心身の負担軽減及び子どもの健やかな育ちのために、親子で気軽につどい、同じような不安や悩みを持つ仲間と交流・団らんできる居場所を提供しながら、地域の子育て力の向上を図っています。

一時預かり事業（1ヶ所）

一部の認可保育園内において、家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を預かり、一時的に保育を行っています。

延長保育事業（8ヶ所）

全認可保育園において、保護者の就労等の理由により、通常の利用時間以外の時間に保育が必要な時に、保育を行っています。

病後児保育事業（2ヶ所）

一部の認可保育園内において、病後（病気の回復期）が理由で集団保育が困難であり、かつ家庭での保育が困難な子どもを、看護師等が一時的に保育等を実施しています。



事業所内保育所

事業所内保育所（1ヶ所）

一部の高齢者施設において、子育て中のスタッフの支援を行う「事業所内保育所」を設けています。専任の保育士がおり、子どもが比較的小さなうちから育児と仕事の両立を図れるよう支援しています。

企業主導型保育所

企業主導型保育所（1ヶ所）

スタッフの子どもを預かる事業所内保育と併せて、その施設の周辺地域で働く方々も利用できるよう、設備や人員の体制を整えた保育を実施しています。

地域の窓口

地域の福祉・保健に関するよろず相談窓口

一般的に、福祉は「困った時に使うもの」として考えられています。しかし、いざ「困った」時には、まず何をすれば良いのか、どこにいけば良いのか、わからないものです。

伸こう福祉会では、そんな方の「道しるべ」となる、よろず相談窓口を設けている他、「困る前」から福祉を身近に感じてもらえるよう、積極的に地域への発信を行っています。



2018 TOPICS

ケアプラザ内だけでなく、 地域の方が住んでいる場所の近くで取り組みを実施

横浜市野七里地域ケアプラザがある栄区は、市内全18区中高齢化率が一番高いにもかかわらず介護保険認定率は低く、元気な高齢者が多い地区です。長く元気でい続けていただくため、「のしちり健康倶楽部」として、ケアプラザ内だけでなく地域の自治会館・町内会館や空き家などの地域の方が訪れやすい場所に出向き、介護予防教室を開いています。

子ども向けの「こどもカフェ上郷」や成人向けの「ナイト・エアロビクス」など、子どもから高齢者まで、幅広い年齢層に親しまれるケアプラザを目指しています。



地域ケアプラザ



地域ケアプラザ（2ヶ所）

横浜市からの指定管理を受託して行う「地域ケアプラザ」の特長は、地域住民の自主的な活動の推進や福祉・保健に関する各種講座の開講などの「地域活動・交流」機能と、福祉・保健の相談窓口としての「地域包括支援センター」機能が一つの建物に含まれ、連携しやすい点にあります。これにより、地域に住む方が「活動」のついでにちょっとしたことを「相談」したり、個々に持ち掛けられた「相談」を地域の課題として捉え、地域全体で取り組む「活動」として働きかけていくことが出来ます。

地域ケアプラザには「地域交流活動コーディネーター」「生活支援コーディネーター」「保健師又は看護師」「社会福祉士」「主任ケアマネジャー」「ケアマネジャー」等の専門職が配置されています。

具体的には、以下のようなサービスを実施しています。

福祉保健活動を行う場所として、多目的ホール、地域ケアルーム、調理室などを提供

（介護予防の活動、子育てサークル、障害児の余暇支援活動、茶話会、ボランティア活動など）

活動に関わる人材の育成発掘、研修の実施などにより地域の活動をサポート

子どもから障害者・高齢者まで分野を問わず気軽に立ち寄れる「地域のよろず相談所」として相談受付

地域の様々な立場の人や団体を巻き込みながら、互助・共助の関係を築くためのまちづくりの推進

訪問介護サービスや高齢者デイサービスなどの介護保険の利用調整（居宅介護支援事業）

伸こう福祉会の 地域の相談窓口

伸こう福祉会 介護総合案内所（1ヶ所）

交通量・通行量の多い県道沿いに、誰もが気軽に立ち寄れる「総合案内所」を設け、介護・福祉に関するあらゆる相談に応じています。「困っているけれど、どこに相談していいのかわからない」方への道しるべとしてご利用いただきながら、地域に潜在する新たなニーズを掘り起こし、地域貢献への一歩となるよう取り組んでいます。

高齢者介護

ご自宅にしながら利用できるサービス

ご自宅での生活を継続しながら利用できる、伸こう福祉会が提供している高齢者介護サービスを紹介します。担当のケアマネジャーが以下のサービス及び伸こう福祉会が提供していない他のサービスを組み合わせた計画を立て（「小規模多機能型居宅介護サービス」「看護小規模多機能型居宅介護サービス」は単独）、ありたい暮らしを実現できるよう、各所で連携しあいながら支援します。



ご自宅に伺うサービス

高齢者訪問介護サービス（1ヶ所）

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、食事・トイレ・入浴などの身体的な介護や、掃除・洗濯・料理・買い物などの生活上の支援をします。日々のコミュニケーションを通じて、ご利用者ご本人も気付かない体調や精神面の変化に気付けるよう努めています。

訪問看護サービス（1ヶ所）

看護師がご自宅にお伺いし、病状や療養生活を専門家の目で見守り、その人らしいご自宅での暮らしが継続できるよう支援します。医療機器をつけた方や緊急の場合にも対応します。

施設に通う・一時的に泊まるサービス

高齢者デイサービス（6ヶ所）

施設に短時間通い、趣味活動を通して社会交流の機会を広げることで生活の中に活気や意欲を取り戻せるよう援助したり、筋力低下を防ぐために運動の機会を増やしたりしながら、ご自宅での生活を継続できるよう支援します。食事や入浴、ご自宅から施設までの送迎を行っています。

高齢者ショートステイサービス（5ヶ所）

施設に短期間お泊りすることで、ご自宅にこもりがちなお利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、ご利用者のご家族がそれぞれの生活を楽しむことができるよう支援します。

2018 TOPICS

ご利用者による音楽・絵画の発表会を開催

「楽しく」「成果を実感でき」「好きなことを通して人と人とが繋がる」プログラムを実践し、「行くと明るく元気になる」と言われるデイサービスになることを目標に、専門家を講師に迎え、「音楽」「アート」を柱にしたプログラムを実施してきました。ご利用者の皆さまは、11月末に行われるコンサート・展覧会を目指して、各々の作品に取り組まれました。



「訪問」「通い」「宿泊」を組み合わせたサービス

小規模多機能型居宅介護サービス（3ヶ所）

ご利用者やご家族の選択・必要性に応じ、スタッフがご自宅に伺ったり、施設内でサービスを提供したり、泊まっていたりするサービスです。すべて一つの事業所で行われるため、ご利用者同士やスタッフと馴染みの関係を築きやすく、柔軟な対応が可能となります。

看護小規模多機能型居宅介護サービス（1ヶ所）

「小規模多機能型居宅介護サービス」の内容に、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、介護と看護の一体的なサービスを提供します。

2018 TOPICS

「地域」での生活を大切に

「小規模多機能型居宅介護サービス」は、介護保険上、「地域密着型サービス」に分類されます。地域密着型サービスは、名前の通り、ご利用者が住み慣れた「地域」での生活を続けるために支援するサービスです。地域で生活をするには、ご利用者への支援だけでなく、地域に積極的に働きかけ、ご利用者と地域をつなげること、地域全体の「福祉力」を向上させる必要があります。事業所を拠点とした地域交流が生まれるよう、イベントなどを通じた発信を行ってきた一年でした。



高齢者介護

「暮らし」を提供するサービス

「生活の拠点」として住まい、「楽しく、きれいに、いつまでも」暮らし続けられるよう、サービスを行います。
 伸こう福祉会では、ご利用者やご家族が病院での治療を望まず、ここを「最後の住まい」として選んでくださったときは、ホーム内で看取りをさせていただきます。



2018 TOPICS

ノーリフトの導入を進めています

腰痛で移乗介助ができない介護スタッフが増えていること、更にはそのスタッフをカバーするために繰り返し移乗介助を行う介護スタッフが更に腰痛になるという悪循環を改善するため、誰にでもできる介護環境をつくろうとノーリフトポリシーの考え方に基づく介護（ノーリフトケア、持ち上げない介護）を導入しました。まずは高齢スタッフが多いクロスハート栄・横浜から介護機器（介護リフト、スタンディングマシン、スライディングシート）を導入し、介護方法の見直しを図っています。



特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム（3ヶ所）

病気や障害が原因で常に介護を必要とする方にお住まいいただき、介護スタッフや栄養士、看護師等の専門職が連携し、健康管理や清潔の維持を支援することでご利用者の心身の状態を安定させられるよう努めます。また、安定したことで生まれるご利用者の意欲を大切に、社会交流や外出の機会をつくります。

ご入居要件

要介護3以上でかつ、ご自宅で適切な介護を受けることが困難な方

高齢者グループホーム

高齢者グループホーム（11ヶ所）

少人数の落ち着いた環境の中で、認知症の方が個人の生活と共同生活を共存させながら可能な限り自立した生活を送れるように支援します。ホームが閉鎖的にならないよう、地域の方と一緒にイベントを行ったり、地域の催し物にご利用者が参加したりなど、外出の機会を多く設けることを心がけています。

ご入居要件

医師から認知症の診断が下りている方でかつ、要支援2以上でかつ、事業所のある市内に住所地がある方

2018 TOPICS

地域向けにセミナーを行いました

鎌倉エリアでは、近隣の薬局と合同で「暮らしの中の身近な危険」をテーマにした地域住民向けのセミナーを開催しました。冬場の入浴で生じやすいヒートショック（急激な温度差による血圧の大きな変動で体に表れる影響。失神や、ひどいときには死に至ることも）に対する注意点や、感染症に対する予防と対策について伝えました。



介護付き有料老人ホーム

介護付き有料老人ホーム（3ヶ所）

元気な方から、重度の介護を必要とされる方まで、安心して暮らせる「家」づくりにこだわり、一人ひとりの自由な暮らしをお手伝いします。自宅では難しくても、ホームに移り住むことによって、若い時から持っていた「社会的役割」や「身体機能」が維持できるように、様々なイベントやプログラムを一緒につくっていきます。

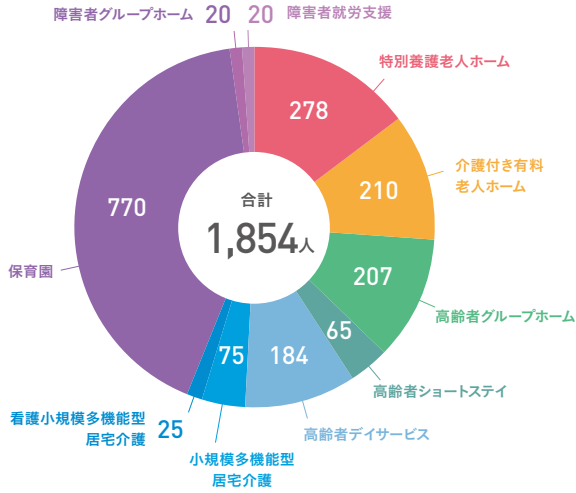
ご入居要件

おおむね65歳以上の方

※特記事項が無い場合は、2017年12月末日時点の数字

事業毎のご利用者定員数

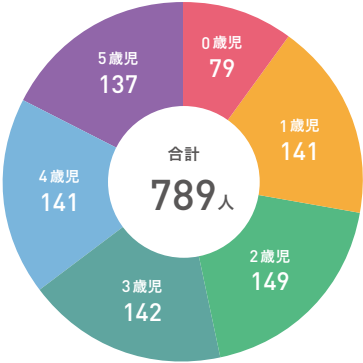
	(人)
特別養護老人ホーム	278
介護付き有料老人ホーム	210
高齢者グループホーム	207
高齢者ショートステイ	65
高齢者デイサービス	184
小規模多機能型居宅介護	75
看護小規模多機能型居宅介護	25
保育園	770
障害者グループホーム	20
障害者就労支援	20



保育事業

各年齢の人数

	(人)
0歳児	79
1歳児	141
2歳児	149
3歳児	142
4歳児	141
5歳児	137
合計	789



障害者支援事業

①平均年齢 / ②平均要介護度

①	2017年	②	2017年
障害者グループホーム	30.0	障害者グループホーム	2.4
	(歳)		

高齢者介護事業

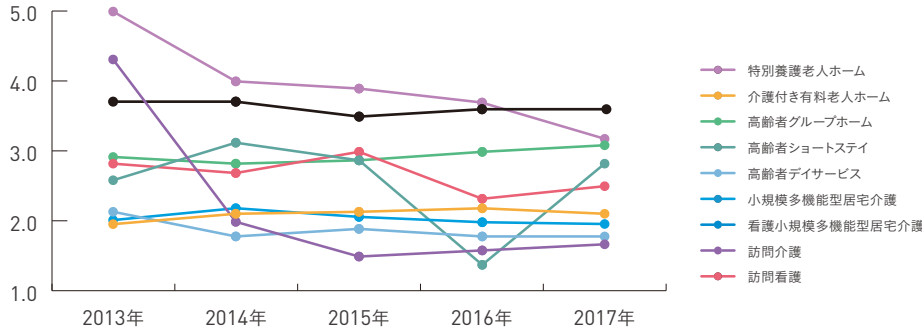
平均年齢

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
特別養護老人ホーム	84.4	84.6	84.9	85.4	85.6
介護付有料老人ホーム	85.6	86.8	86.8	87.7	88.5
高齢者グループホーム	85.6	85.7	86.2	86.4	86.8
高齢者ショートステイ	83.6	84.9	85.1	84.3	83.9
高齢者デイサービス	84.6	84.4	84.5	85.3	85.1
小規模多機能型居宅介護	82.3	83.7	82.0	82.7	84.2
看護小規模多機能型居宅介護	70.0	76.2	83.8	81.7	73.0
訪問介護	81.3	81.4	82.6	83.7	84.1
訪問看護	78.1	80.0	82.6	76.8	73.0

(歳)

高齢者介護事業

平均要介護度



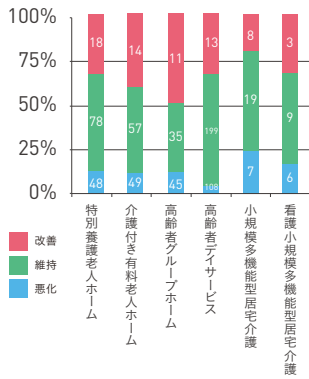
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
特別養護老人ホーム	3.7	3.7	3.5	3.6	3.6
介護付有料老人ホーム	2.0	2.1	2.1	2.2	2.1
高齢者グループホーム	2.9	2.8	2.9	3.0	3.1
高齢者ショートステイ	2.6	3.1	2.9	1.4	2.8
高齢者デイサービス	2.1	1.8	1.9	1.8	1.8
小規模多機能型居宅介護	2.0	2.2	2.1	2.0	2.0
看護小規模多機能型居宅介護	5.0	4.0	3.9	3.7	3.2
訪問介護	4.3	2.0	1.5	1.6	1.7
訪問看護	2.8	2.7	3.0	2.3	2.5

高齢者介護事業

①全ご利用者数における認知症の診断が下りている方の割合 / ②要介護度の変化

	①	改善	維持	悪化
特別養護老人ホーム	90.8%	18	78	48
介護付き有料老人ホーム	39.0%	14	57	49
高齢者グループホーム	100.0%	11	35	45
高齢者デイサービス	20.9%	13	199	108
小規模多機能型居宅介護	70.2%	8	19	7
看護小規模多機能型居宅介護	4.3%	3	9	6
訪問介護	19.8%			
訪問看護	0.0%			

※2017年1月1日～2017年12月31日に区分変更をした方の中で、
要介護度が下がった方を「改善」、変わらなかった方を「維持」、上がった方を「悪化」としています。

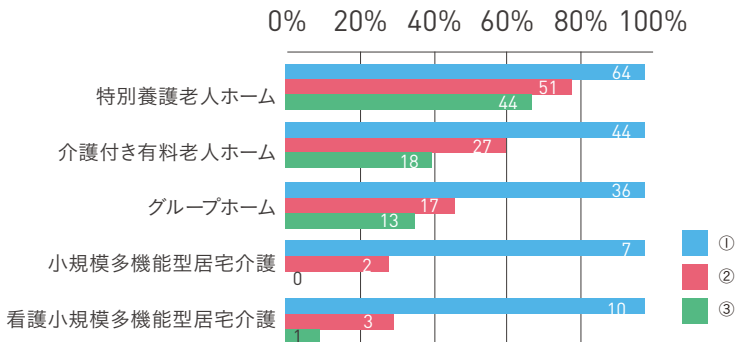


高齢者介護事業

看取りケアをさせていただいたご利用者数

- ①：今年度中にご退去・ご利用中止されたご利用者数
②：①の内、理由が「ご逝去」のご利用者数
③：②の内、事業所内で看取りケアをさせていただいたご利用者数

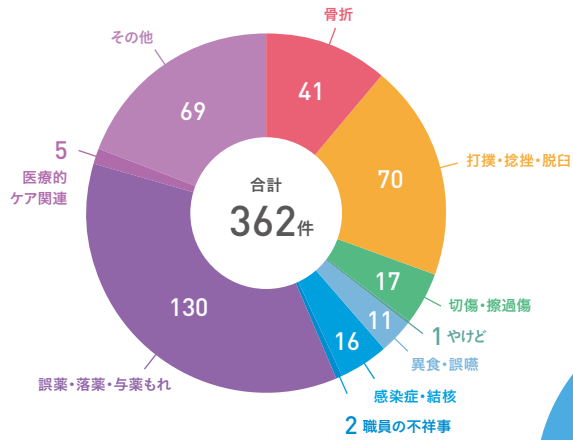
	①	②	③
特別養護老人ホーム	64	51	44
介護付き有料老人ホーム	44	27	18
高齢者グループホーム	36	17	13
小規模多機能型居宅介護	7	2	0
看護小規模多機能型居宅介護	10	3	1



事故報告件数

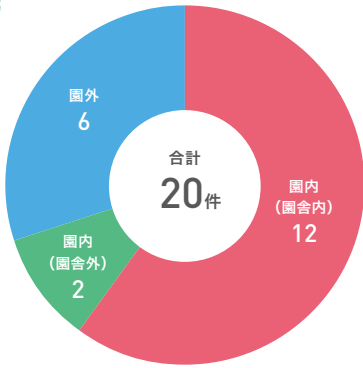
高齢者介護・障害者支援事業
行政報告をした事故の種類・件数

	(件)
骨折	41
打撲・捻挫・脱臼	70
切傷・擦過傷	17
やけど	1
異食・誤嚥	11
食中毒	0
感染症・結核	16
職員の不祥事	2
誤薬・落薬・与薬もれ	130
医療的ケア関連	5
その他	69
合計	362



保育事業 法人加入の
「日本スポーツ振興センター」
に申請した件数

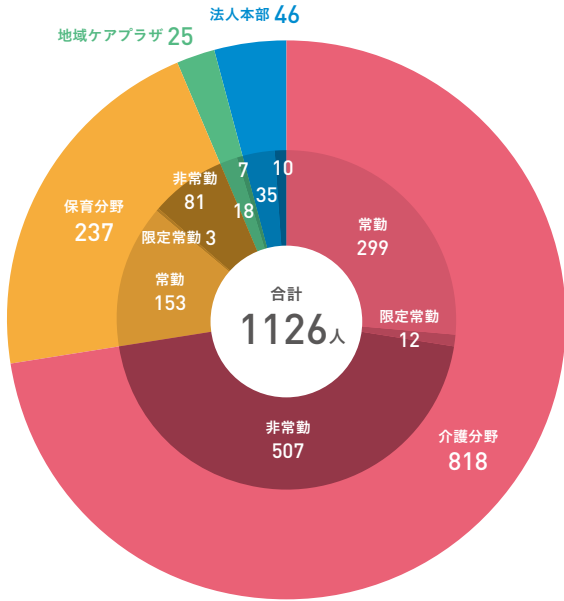
	(件)
園内(園舎内)	12
園内(園舎外)	2
園外	6
合計	20



分野毎のスタッフ人数

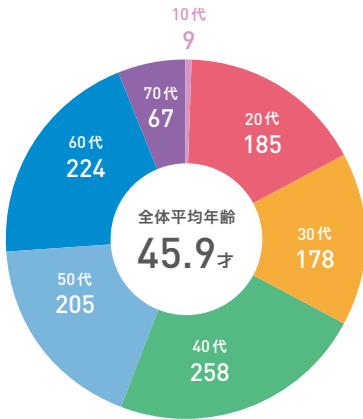
	(人)
高齢者介護・障害者支援分野	818
常勤	299
限定常勤	12
非常勤	507
保育分野	237
常勤	153
限定常勤	3
非常勤	81

	(人)
地域ケアプラザ	25
常勤	18
限定常勤	0
非常勤	7
法人本部	46
常勤	35
限定常勤	1
非常勤	10
合計	1126



スタッフの年齢割合

	(人)
10代	9
20代	185
30代	178
40代	258
50代	205
60代	224
70代	67
80代	0

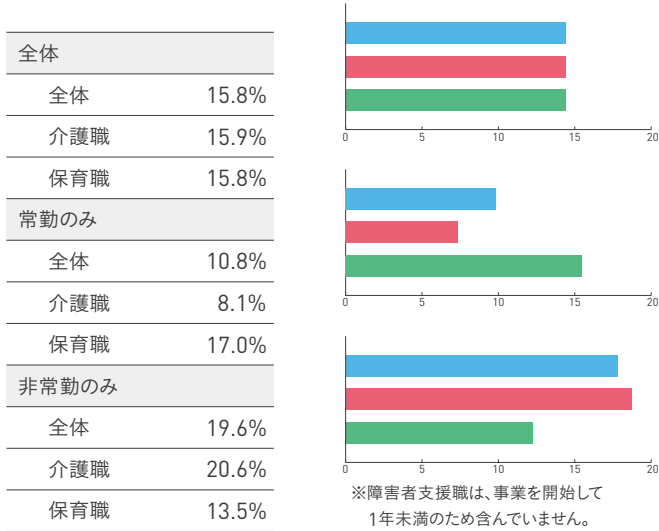


高齢者介護・障害者支援分野平均年齢	49.3才
保育分野平均年齢	39.6才

主な資格所有者人数

	(人)		(人)
介護福祉士	228	栄養士	12
保育士	189	衛生管理者	7
介護支援専門員	109	保健師	5
衛生推進者	87	柔道整復師	4
看護師(准看護師含む)	86	歯科衛生士	2
社会福祉士	18	理学療法士	2
調理師	16	精神保健福祉士	1
管理栄養士	14		

2017年1月～12月 離職率



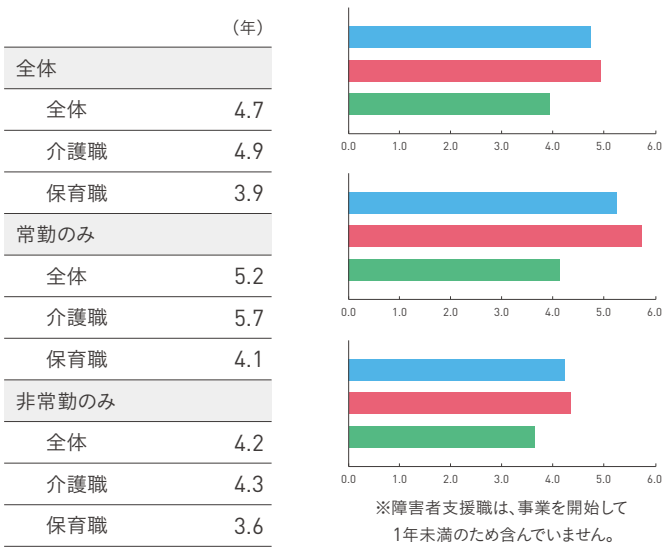
外国籍スタッフの国別人数

	(人)		(人)
ペルー	12	スウェーデン	1
中国	10	タイ	1
フィリピン	9	台湾	1
ブラジル	3	ネパール	1
アルゼンチン	1	バングラディッシュ	1
イギリス	1	ベトナム	1
イラン	1	ベネズエラ	1
韓国	1	ボリビア	1
ガンビア	1	ミャンマー	1
コンゴ	1	ルーマニア	1
合計	50	合計	50

障害者手帳を持ったスタッフ人数

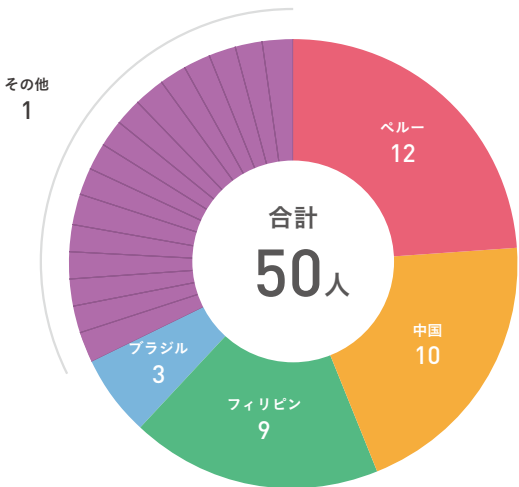
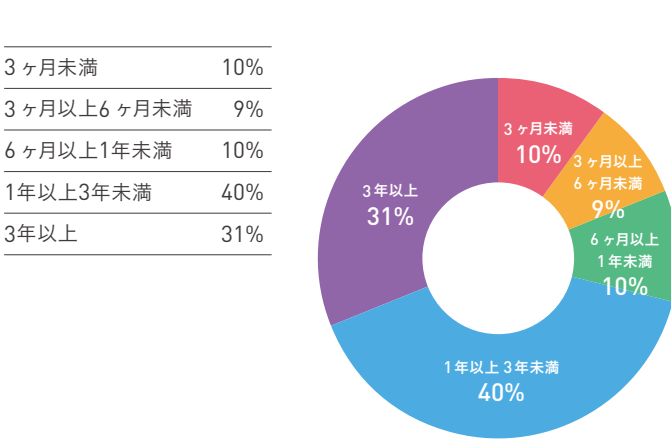
30人

平均勤続年数



※障害者支援職は、事業を開始して
1年未満のため含んでいません。

2017年1月～12月 退職者の勤務年数別の割合

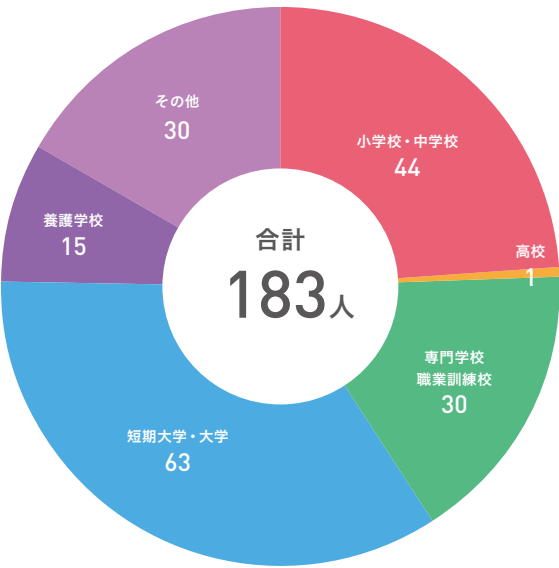


ボランティアが主導となって開催して下さったイベント件数

	介護事業	保育事業
歌の会・演奏会	116	20
朗読会	2	4
体操・ダンス	40	108
もの作り	17	13
その他	22	35
	(件)	

実習生の受け入れ人数

	(人)
小学校・中学校	44
高校	1
専門学校・職業訓練校	30
短期大学・大学	63
養護学校	15
その他	30
合計	183



地域に向けたイベント件数

	高齢者介護事業	保育事業	障害者支援事業	(件)
勉強会・講演会	10	8	6	
映画鑑賞会・音楽演奏会	13	2	0	
フェスティバル・パーティー	17	8	1	
カルチャースクール	2	2	0	
食事会	3	0	0	
世代間交流	9	2	0	
その他	6	10	9	

地域で開催されたイベントへのご利用者の参加

	(件)	内容
高齢者介護事業	107	地域のお祭り、近隣施設との交流、体操教室参加、地域の消防訓練など
保育事業	45	小学校訪問、地域のお祭り、移動動物園、人形劇、駅伝、ビーチクリーン、花植えなど
障害者支援事業	2	地域のお祭り、季節行事など

見学者人数

	高齢者介護事業	保育事業	障害者支援事業	(人)
ご利用検討者又はご家族	660	840	59	
入職検討者	112	17	2	
イベント以外の地域の方	3990	243	10	
その他	180	7048	20	
合計	4942	1148	91	

CSR

に基づく

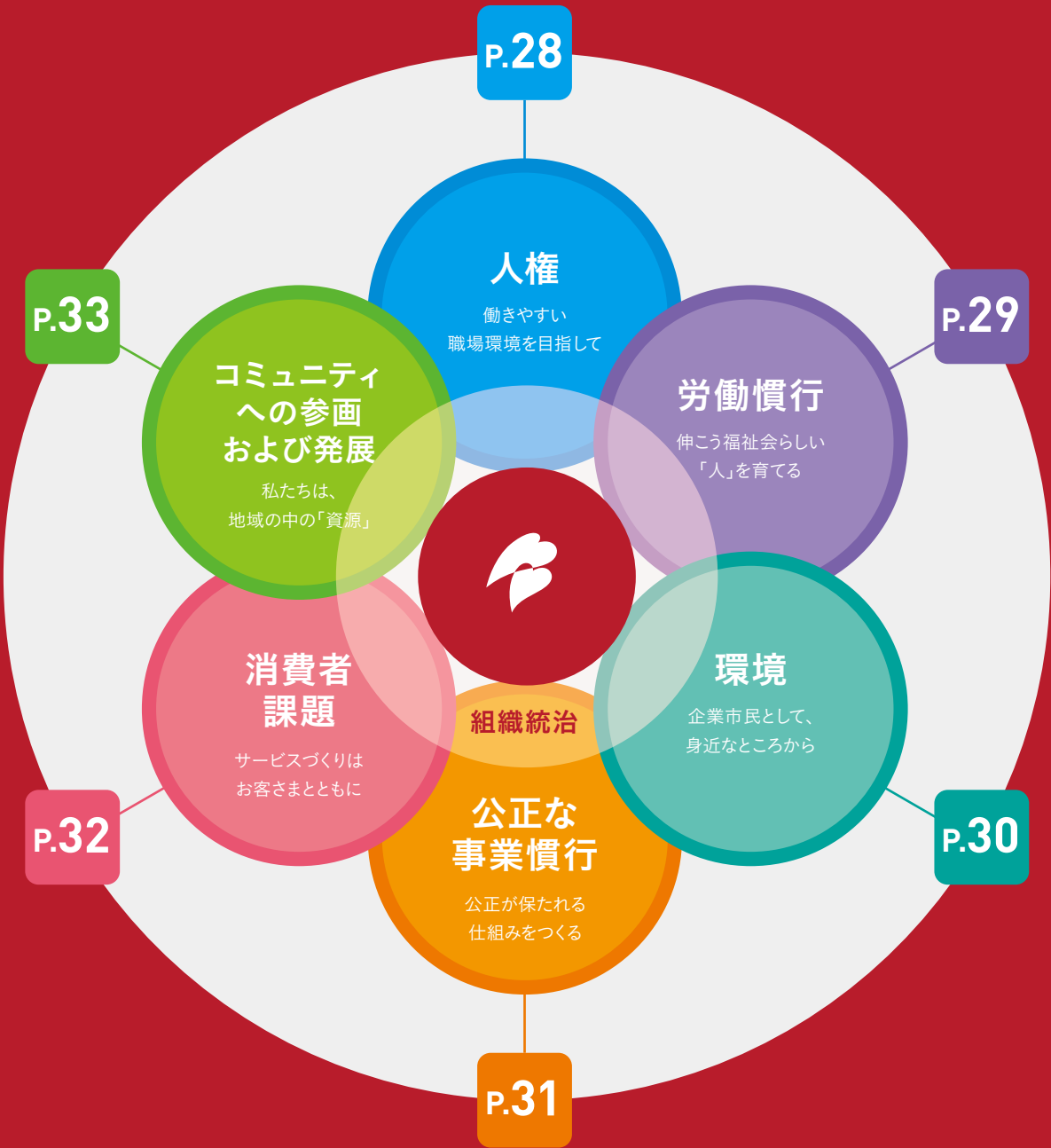
伸こう福祉会の取り組み

(CSR=Corporate social responsibility: 企業の社会的責任)

企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility: CSR)に対する社会の要請は、年々高まっています。そこで伸こう福祉会では、体系的でかつ国際標準に則したCSR活動に向けて、国際標準化機構のISO26000に基づき課題を整理して実行に移し、本レポートやホームページ、マスコミ、講演等を通じ、ステークホルダーの皆さまへ積極的に情報開示しています。

また、「社会福祉法人」である伸こう福祉会にとっては、良質なサービスを1人でも多くのサービスを必要とする方へ届けることそのものが「社会的責任」でもあります。今後もサービスを量・質共に拡充し、積極的に社会の要請に応えていきたいと思います。

ISO26000 7つの中核主題



働きやすい職場環境を目指して

就労環境の整備

スタッフが心身ともに安心・安定して長く働ける就労環境を目指し、国で決められている産休・育休や有休制度の他、様々な取り組みを行っています。



事業所内 保育所	子どもが小さなうちから育児と仕事の両立を図ることが出来るよう、川崎市と藤沢市の一部の事業所において、スタッフ向けの保育所(川崎市の事業所は地域と共同利用の保育所)を設けています。また、事業所内保育室が無い事業所においても、スタッフは子どもを連れて出勤をすることができます。
限定常勤 制度	能力がありながら、勤務地域や時間帯に制限があり常勤スタッフとして働けない方へ、「地域限定常勤」「時間帯限定常勤」の雇用形態を設けています。
クロスハートバカンス	常勤スタッフは、年間を通して最大10日間の連続休暇を取得できます。
宿舎借り上げ 支援	必要なスタッフに対して法人が借り上げた宿舎に入居する場合の費用の一部を支援しています。

働きにくさを抱えた方の雇用と定着

伸こう福祉会では、働きにくさを抱えた方も含めた人材の多様性を推進しています。本部機能に支援をする担当者を設けている他、施設長や主任をはじめとした管理職がきめ細かくサポートし、「誰もが介護や子育て、病気などで柔軟な働き方が必要な時がある」という、困った時はお互いさまの組織風土づくりを目指しています。働きにくさの特性に応じ仕事内容や勤務時間を調整しているため、給与の差は設けていません。能力によっては、常勤として働くスタッフも多数います。

高齢者の雇用	満70歳を定年とし、健康状態などを考慮したうえで、定年後も働くことを希望するスタッフは再雇用し、最長80歳まで継続雇用しています。
障害を持つ方の雇用	本部に担当者を設け、相談支援を行っています。
外国籍の方の雇用	本部に担当者を設け、個別の相談支援を行っています。
難民の方の雇用	難民認定申請中の求職者を積極的に受け入れています。また、それらの方々が住居を確保するための支援について明確にしています。
スタッフホットライン	直属の上長に伝えづらい相談を24時間365日受けられる電話窓口を設けています。



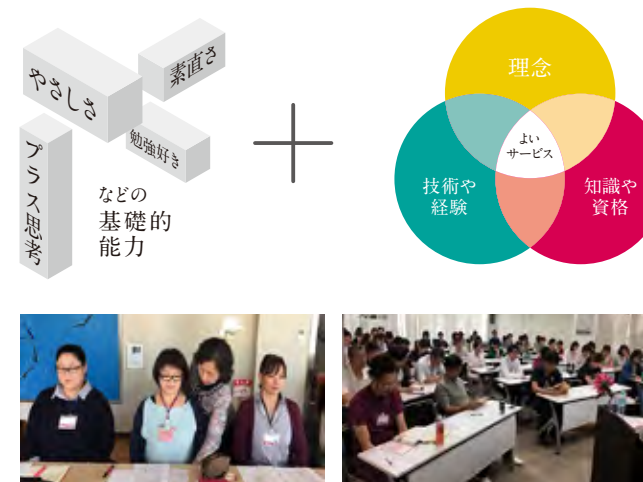
法人全体の連携強化

「One Family」を意識し、施設間を越えた交流ができるよう、経営チームが招待し、月に1度スタッフのバースデー遠足を行っています。また、職場とは違う環境の中で事業や役職、職場の垣根を超えて一つのものに取り組もうと、2017年9月に3回目となるスタッフ向けの運動会「SKF大運動会」を開催し、460名(家族・スタッフ402名、ゲスト参加者58名)が参加しました。



伸こう福祉会らしい「人」を育てる

2017年度研修体系



伸こう福祉会では、“やさしさ”、“素直さ”、“勉強好き”、“プラス思考”等の「基礎的能力」を持ち合わせるスタッフが、法人の「理念」や仕事をしながら習得する「技術や経験」、専門職としての「知識や資格」を身に付けていくことにより、より良いサービスを提供できると考えています。そのため、面接時には入職後では教育が難しい「基礎的能力」の確認に重点を置き、入職時の研修や全スタッフが一年に一度受講する研修で繰り返し「理念」を伝え、入職期間・役職に応じた総合的な研修や各施設でのOJTで「技術や経験」を重ね、専門職毎の研修や資格取得をサポートする研修で「知識や資格」が得られるよう取り組んでいます。

階層		
内定者	○中途入職者	○新卒入職者
	入職手続き 法人規定や勤務上の規則について理解する。	内定者ガイダンス 入職に向けた準備及び先輩や同期スタッフとの懇親を深める。
新入職スタッフ	入職時オリエンテーション 施設見学及び入職後の業務や注意事項等について理解する。	入職前オリエンテーション 法人に対する理解やビジネスマナー・コミュニケーション研修及び法人の基本理念を学ぶ。
	新入職カレッジⅠ 法人の基本理念や品質目標の理解及び今年度の重点項目についての理解を深める。	新卒カレッジ (介護・保育共通) 社会人として必要な知識や対人援助職としておさえておくべき必要なテーマを学ぶ。 (介護) 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術の習得。職業倫理を学ぶ。 (保育) 保育士として必要な知識や経験を、OJTとして実際の現場で学ぶ。
一般スタッフ	新入職カレッジⅡ 介護スタッフとして必要な基礎知識・技術を習得する。	スキルアップカレッジ 資格習得を目指し知識技術習得、モチベーションの向上及びサービス品質の向上を図る。 オープンカレッジ 受講者をスタッフに限定せず、地域や他社の方など多くの方へ学びの機会を提供する。 フォローアップカレッジ 業務に必要な知識・技術の復習や、理解促進等の支援。
	一般職向けカレッジ 階層別法人内スタッフのスキルアップやサービス品質向上を目指した研修。	
リーダー・主任	全スタッフカレッジ 法人の理念・品質方針を共有し、サービスの品質向上を目指す。	
施設長	リーダーカレッジ リーダー職に向け、専門性の向上及びマネジメント技術向上を目指す。	
	施設長カレッジ 品質向上やマネジメント技術向上及び戦略経営を目指す。	

企業市民として、身近なところから

地域のクリーン活動



伸こう福祉会の多くの施設がある湘南地域は、鎌倉や江の島など豊富な観光資源を有し、「東京都内から1時間で行ける砂浜も岩浜もある海」として人気のスポットです。その海を守り次世代まで残すことを目的に、ごみの持ち帰り運動やビーチクリーンアップの開催等による美化啓発・海岸清掃ボランティアの支援を行う「公益財団法人 かながわ海岸美化財団」が設立され、伸こう福祉会も2014年からビーチクリーン活動に参加しています。

キディ鶴沼・藤沢では、2017年5月12日に事前学習として神奈川美化財団の担当者からゴミのことや拾い方を教わり、5月19日には江ノ電に乗って片瀬海岸東浜に行き、実際にビーチクリーンを行いました。また親子ビーチクリーンとして、6月11日に片瀬海岸西浜において、キディ湘南C-Xと合同で保護者も一緒にゴミ拾いを行いました。

保育事業では、ISO14001(環境マネジメントシステムに関する国際規格)の認証を取得している園において、日々の保育の中でも環境問題を意識した教育に取り組んでいます。大人になっても記憶に残るような活動を心掛け、食事や菜園づくり、清掃活動等の「体験」を通して自然の大切さを学べる機会を多く設けています。



横浜市の消防大会へ出場



2017年10月12日、災害に備えて事業所の従業員たちによって構成されている自衛消防隊組織の技術を競い合う「栄区自衛消防隊技術訓練会」(主催:栄区自衛消防連絡協議会)に「特別養護老人ホーム クロスハート栄・横浜」のスタッフが参加しました。

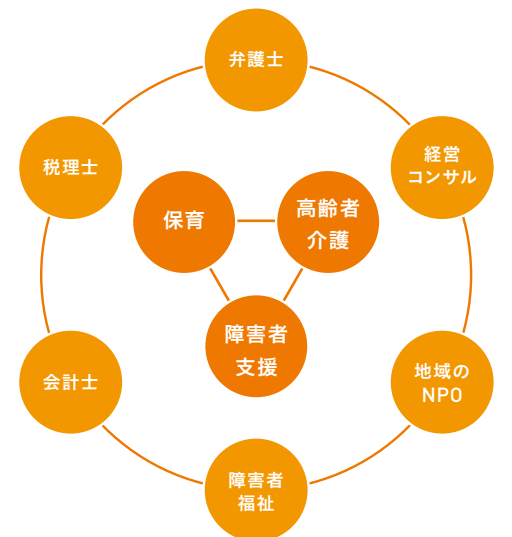


公正が保たれる仕組みをつくる

経営組織のガバナンスの強化

2017年の社会福祉法の改正によって、社会福祉法人は、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取り組みを実施する責務が求められました。伸こう福祉会では、政令で規定される会計監査人の設置基準に対応した他、会計監査人として監査法人と契約し、定期的に監査を受けています。

また、以前から設置していた評議員会機能を今回の法改正に伴い改めて見直し、右の図のような、様々な分野の専門家により構成される体制になりました。年12回理事会、年3回評議員会を開いており、外部役員にも積極的に運営に関わっていただくことで、公正が保たれる仕組みを作っています。



ISOを通じた基準の整備

よりよいサービスをお客さまへ提供するための仕組みをつくり、第三者の目線で評価をしていただくため、介護事業の各施設で、品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、更新を重ねています。今期は2017年12月5・6日にサーベイランス(定期審査)が行われました。



公正・公平な取引の徹底

日々のサービスを支えて下さる協力会社やお取引先など、様々なビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していきたいと考えています。

契約にあたっては、「JIS Q 9001:2008 品質マネジメントシステム 要求事項」に即して作成している法人内規定「品質マニュアル」及び「稟議規定」に基づき、関連法規を遵守した公正公平な取引の実現に努めています。また、すべての委託先、購買物品については、品質レベルを評価・確認し、最長1年毎に継続を検討しています。



サービスづくりはお客さまとともに

「尊厳」とは何か、改めて考える

「尊厳を持って生きる人の生活を守ること」は、社会福祉の支援者として実践すべき大切な仕事です。2017年度は、全スタッフを対象とした研修で改めて「人権」について考え、各事業所「人権侵害の撤廃に向けた宣誓書」を作成しました。「ご利用者の人権を知り、それを守ることを意識する」。これが、尊厳とともに生きるご利用者の生活を支える第一歩だと考えます。



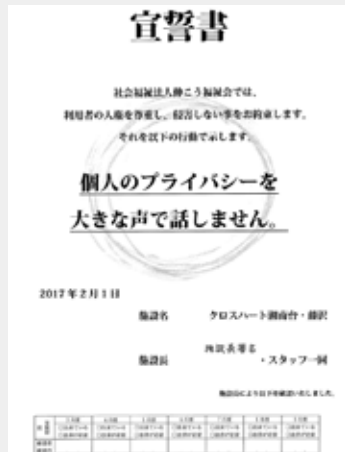
福祉施設でありがちな利用者へ
の人権侵害について学ぶ

施設ごと、あるいは事業ごとに話し合いました。



ご利用者への人権侵害を
侵さないために行うことを考える

研修で話し合った内容をそれぞれの事業所に持ち帰り、再度話し合いました。



人権侵害の撤廃に向けた誓約書
の作成と掲示

法人全体として「人権侵害撤廃」への取り組みを推進しています。

追悼への取り組み

毎年11月30日を追悼の日として定め、お亡くなりになられた方の生前を偲び哀悼の意を表す日としています。残されたご家族にも声をかけ、故人の思い出を語り合うことで、ご家族の現在の様子を知ることできます。また、スタッフが人の死から受ける喪失感や虚無感などに対する、心のケアとしても実施していきます。継続的な実施により、この取り組みが伝統や文化として定着することでスタッフの「感性や気付き」の醸成にも繋げていきたいと考えています。



地域の多職種ネットワークの構築

2012年に地域の医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー・介護職・司法書士・葬儀屋・はり灸師・介護タクシー業者・医療ソーシャルワーカーなど、様々な職種で「ターミナルケアを考える会in鎌倉」を発足し、現在まで毎月1回継続して学びの場を開いています。「例外なく誰にも訪れる死とどのように向き合い支援するのか」「これから訪れる多死時代に向け私たち事業所ができることは何か」を、多職種で共に学び合いながら、鎌倉に暮らす人々が最後までその人らしく安心して暮らせる市(自宅・施設・病院)を目指しています。

私たちは、地域の中の「資源」

福祉施設は地域のコミュニティスペース

伸こう福祉会では、地域の方に普段あまり足を踏み入れることのない福祉施設をもっと身近に感じてもらうと同時に、施設を地域のコミュニティスペースとして活用していただくために、様々な取り組みをしています。その取り組みが評価され、高齢者住宅経営者連絡協議会が開催する「リビング・オブ・ザ・イヤー 2017地球環境貢献部門」において、特別養護老人ホーム「クロスハート幸・川崎」が最優秀賞を受賞しました。

クロスハート幸・川崎では、「自家発電装置」「自家発電燃料の自動給油装置」「電気自動車を紹介した電気供給」「ソーラーパネル」を設置し、有事の時でもご入居者が普段の生活を送れるようにするだけでなく、地域住民の避難拠点にもなれるようにしています。また、持続可能な自然環境づくりを目指し、環境負荷軽減のための設備も導入しています。

そして、地域の方に気軽に訪れてもらうために、玄関を施錠せず、ロビーは地域住民の会議室として開放しています。現在35団体、年間6,695名の方が施設を訪れており、地域の集いの場として親しまれています。これからも、「人と人、そして地域をつなぐホーム」としての役割を担っていきます。



復興庁 被災者支援総合事業「心の復興」事業の開催



東日本大震災で被災し東京・埼玉・神奈川に避難をしている方が、他者とのつながりや、生きがいをもって前向きに生活することにつながるよう、復興庁が主管する「心の復興」事業を受託し、伸こう福祉会で実施しました。

「パン教室」や「みかん狩り」などの「味覚」を楽しむ講座や、「礼法講座」、「アクセサリーの作成」などの被災者の活力増進を目的としたものなどを4回主催した他、震災から6年が経過した今、震災が私たちに残したことを忘れないための風化防止事業として、地域の方への展示フォーラムを開催しました。

メディア掲載一覧

MEDIA COVERAGE

2017年4月～2018年3月にご掲載いただいたものをご紹介します。

テレビ

2017年9月14日	テレビ神奈川「ニュース930α」	高齢者雇用促進 園内企業との取り組みと支援体制について	足立聖子（理事長）
------------	------------------	-----------------------------	-----------

新聞・雑誌・ネットニュース

2017年4月11日	毎日新聞	高齢者引退なき時代へ	岸 武（クロスハート本拠沼・藤沢グループホーム）
2017年6月29日	オルタナ	難民・人権問題で企業は無力か	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年7月1日	介護保険情報	キャリア段位を活用しOJT推進	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年7月2日	日経ヴェリタス	多様な人材・働き方が風穴	大平邦雄（クロスハート・横浜デイサービス）
2017年8月31日	日本シニアリビング新聞	施設ルボ 多様性がよきものを捧ぐ	坂口律江（クロスハート幸・川崎）
2017年9月15日	介護の経営と運営	外国人介護人材に関する制度の変化	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年9月15日	老施協	新たな外国人技能実習制度への対応	足立聖子（理事長）、鈴木麻利子（理事）
2017年9月22日	シルバー新報	多様性を生かす職場づくり 職職員研修で理念共有 伸こう福祉会	足立聖子（理事長）、田畑ローザ・金宇琦（クロスハート幸・川崎）
2017年9月22日	シルバー新報	ファイナリスト決定 LOY17	クロスハート幸・川崎
2017年10月11日	高齢者住宅新聞	仕事付住宅 事業モデル 高齢者の健康延伸へ	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年10月12日	建通新聞	健康寿命延伸を支援 東レ建設ら、経産省のモデル事業に採択	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年10月19日	建通新聞（大阪版）	東レ建設 伸こう福祉会と新事業	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年11月1日	タウンニュース栄区版	港南消防団3位に 市消防操法技術訓練会で	クロスハート栄・横浜
2017年11月7日	住宅新報	老人ホームに農業施設 経産省の事業に採択 東レ建設など	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年11月10日	日経ヘルスケア	伸こう福祉会が「仕事付き高齢者住宅」のモデル事業	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年11月20日	介護ビジョン	外国人介護人材との付き合い方	足立聖子（理事長）、劉 澤・劉 睿・田畑ローザ（クロスハート幸・川崎）
2017年11月26日	週刊アスキー	多様な課題解決に地域ラボで挑むヴィンテージ・ソサエティ	林 義仁（副理事長）
2017年11月30日	日本シニアリビング新聞	技能実習生活用への道 外国出身者のやる気を引き出すことが重要	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年12月1日	月刊シニアビジネスマーケット	伸こう福祉会と東レ建設 仕事付き高齢者住宅のモデル事業に	社会福祉法人伸こう福祉会
2017年12月7日	日本経済新聞	80歳も支える転居に転身 年齢で「分断」時代遅れ（砂上の安心網）	松村ゆり子（クロスハート幸・川崎）
2017年12月12日	地域ケアリング	地域共生社会の連携の在り方（シンポジウム）	足立聖子（理事長）
2018年1月1日	月刊シニアビジネスマーケット	特集 シニアビジネスの近未来	足立聖子（理事長）
2018年1月15日	汐見台ニュース	春夏秋冬 四つの機能が一つの建物の中にあります	石川雅史（横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ）
2018年1月15日	汐見台ニュース	親子の食育講座 ミニケーキ作りをつくろう	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ
2018年1月27日	おはよう21	外国人・障害者・高齢者が活躍する職場づくりで人材不足解消	足立聖子（理事長）
2018年2月1日	月刊シニアビジネスマーケット	リビングラボ 仕事付き高齢者住宅で自立支援を超えて自由な生き方を提案	足立聖子（理事長）
2018年2月1日	月刊シニアビジネスマーケット	有料老人ホームでの生きがい創出に向け、入居者による野菜の生産をスタート	有志津子（理事）、荒川多恵子（クロスハート湘南台・藤沢）
2018年2月12日	地域ケアリング	社会福祉法人改革の到達点と課題（シンポジウム）	足立聖子（理事長）
2018年2月19日	日経デジタルヘルス	仕事付き高齢者住宅とは	社会福祉法人伸こう福祉会
2018年2月22日	タウンニュース幸区版	在宅介護者に癒しの時間 幸区社協	クロスハート幸・川崎

書籍

2017年6日10日	第一法規	『介護（ケア）労働と人材確保対策』	足立聖子（理事長）
		編著：介護サービス事業リスクマネジメント研究会	



専務理事の片山ます江が、これまでの経験から考える「理想の老人ホーム」の在り方を、一冊の本にまとめました。

タイトル：理想の老人ホームって何だろう ―常識にとらわれない介護 70 か条―

出版 社：草思社 著者：片山ます江 発売 日：2016年9月21日

内容：出版社紹介ページより

これからの時代における介護と老人ホームのあり方。70の条件には、福祉の仕事に携わる人には「えっ」と思いそうな言葉や介護ビジネスの枠を超える大胆で斬新な提案が続きます。「福祉の世界なんてまったく知らなかったし、いまだに福祉のことがわからない」と語る”福祉の門外漢”ならではの人間中心の真摯なメッセージは、福祉に携わる人だけでなく、家族や自身の老い暮らしを考える上で必ずや参考になることでしょう。

外部講演一覧

SEMINAR

2017年3月～2018年3月に取り組みを発表させて頂いた講演をご紹介します。

日付	テーマ	発表者	【講演会名】主催者
2017年3月17日	幸区認可保育園の園内研修の発表	新田美雪・飯山つかさ（キディ古市場保育園）	川崎市幸区
2017年4月23日	介護現場が薬剤師に望むこと	足立聖子（理事長）	【第2回全国ファーマシーフェア2017】一般社団法人日本保険薬局協会
2017年5月26日	外国人材の活用と定着	足立聖子（理事長）	【介護職外国人採用支援フェア】株式会社メディバス
2017年5月29日	高齢者住宅経営者が自立支援に向けて、介護を語る！	足立聖子（理事長）	【第5回高経協シンポジウム】高齢者住宅経営者連絡協議会
2017年6月4日	要介護者への支援について	小林大悟・仲村飯子（横浜市野七里地域ケアプラザ）	旧庄戸中学校防災拠点運営委員会
2017年6月16日	社会福祉基礎演習Iゲストスピーカー	飯吉あかね（クロスハート栄・横浜 社会福祉士）	神奈川県立保健福祉大学
2017年6月29日	新人ケアマネジャー研修	廣岡恵美（クロスハート十二所・鎌倉 小規模多機能型居宅介護 ケアマネジャー）	鎌倉市
2017年6月30日	小規模多機能型居宅介護について	廣岡恵美（クロスハート十二所・鎌倉 小規模多機能型居宅介護 ケアマネジャー）	特定非営利活動法人かまくら地域介護支援機構
2017年7月5日	審査員	横尾かおり（クロスハート栄・横浜 施設長）	【第16回かながわ高齢者福祉研究大会】社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、老人福祉施設協議会、第16回かながわ高齢者福祉研究大会実行委員会
2017年7月5日	毎日コソコソちょこっとレクリエーション ～レクリエーションの復活を目指して～	島村尚・野村郁美（クロスハート幸・川崎 ユニットリーダー）	
2017年7月12日	高齢者が狙われている詐欺の話と成年後見制度について	油井智明（横浜市野七里地域ケアプラザ 社会福祉士）	福祉クラブ生協オブティ栄
2017年7月19日	多様な人材と共に働く上で留意すべきこと	足立聖子（理事長）	【高齢者住宅フェア2017 in 東京】株式会社高齢者住宅新聞社
2017年7月24日	とろみ剤の正しい使い方について	入澤治子（クロスハート幸・川崎 管理栄養士）	川崎南部摂食嚥下・栄養研究会
2017年8月22日	地元の夏野菜とケアプラザで収穫したゴーヤを使った健康料理教室	瀧本暁子（クロスハート野七里・栄 施設長 管理栄養士）	横浜市野七里地域ケアプラザ
2017年9月10日	旧庄戸中学校防災拠点避難訓練（車椅子の基本操作について）	小林大悟・仲村飯子 油井智明（横浜市野七里地域ケアプラザ）	旧庄戸中学校防災拠点運営委員会
2017年9月13日	人材の確保と定着（研修担当者へ向けて）	前田みどり（事業本部） 田中祥子（クロスハート南・横浜 施設長）	【静岡県採用担当者研修】静岡県社協人材センター
2017年9月14日	人材の確保と定着（研修担当者へ向けて）	前田みどり（事業本部） 田中祥子（クロスハート南・横浜 施設長）	【静岡県採用担当者研修】静岡県社協人材センター
2017年9月21日	人材の確保と定着（研修担当者へ向けて）	前田みどり（事業本部） 田中祥子（クロスハート南・横浜 施設長）	【静岡県採用担当者研修】静岡県社協人材センター
2017年9月17日	旧野七里小学校防災拠点避難訓練（車椅子の基本操作について）	小林大悟・仲村飯子・角田あさみ 油井智明（横浜市野七里地域ケアプラザ）	旧野七里小学校防災拠点運営委員会
2017年10月6日	人材の確保と定着	足立聖子（理事長）	【第18回介護保険推進全国サミット in いわぬま】岩沼市介護福祉課
2017年10月13日	人生100年ヴィンテージ・ソサエティ・ラボ	林義仁（副理事長）	【人生100年ヴィンテージ・ソサエティ・ラボ】経済産業省
2017年10月18日	70歳以上の独居高齢者食事会【三水会】	横尾かおり（クロスハート栄・横浜 施設長）	本郷中央地区民生委員
2017年10月21日	庄戸小学校防災拠点開設訓練（車椅子の基本操作について）	小林大悟・仲村飯子（横浜市野七里地域ケアプラザ）	庄戸小学校防災拠点運営委員会
2017年10月25日	地域連携研修内の事例報告	大森忍（キディ百合丘・川崎 保育士）	川崎市麻生区
2017年10月27日	人材の確保と定着	足立聖子（理事長）	【特別養護老人ホーム経営セミナー（東京）】独立行政法人福祉医療機構
2017年10月28日	湘南ハイツ文化祭 健康講話 介護施設について	佐藤弘子（クロスハート栄・横浜 介護主任）	湘南ハイツ自治会
2017年11月1日	人材の確保と定着	足立聖子（理事長）	【第37回医療・福祉フォーラムシンポジウム】医療・福祉フォーラム実行委員会
2017年11月2日	人材の確保と定着	足立聖子（理事長）	【特別養護老人ホーム経営セミナー（大阪）】独立行政法人福祉医療機構
2017年11月5日	自治会防災訓練 災害時におけるクロスハートの役割	阿部輝美・飯吉あかね・森田智貴（クロスハート栄・横浜）	湘南ハイツ自治会
2017年11月10日	小規模多機能型居宅介護について	桜井孝和 （クロスハート十二所・鎌倉 小規模多機能型居宅介護）	鎌倉市医師会・病院連絡会議
2017年11月15日	感染症予防について	杉原みどり（鎌倉エリアマネージャー 兼看護師）	鎌倉地域
2017年11月25日	本部機能	山中佳（理事）	【第三回福祉法人経営学会大会-福祉法人の経営戦略-】福祉法人経営学会
2017年11月25日	人材確保	村山和行（理事）	
2017年11月28日	人材の確保と定着（保育事例を元に）	足立聖子（理事長）	【新時代保育園・幼稚園経営研究会】船井総研保育幼稚園研究会
2017年12月1日	栄区家庭防災員研修 在宅介護支援のポイント	横尾かおり・阿部輝美・飯吉あかね 森田智貴（クロスハート栄・横浜）	栄消防署
2017年12月2日	栄区家庭防災員研修 在宅介護支援のポイント	阿部輝美・森田智貴（クロスハート栄・横浜）	栄消防署
2017年12月4日	認知症症状の行動理解と受容	中村美佳（クロスハート田谷・栄 施設長）	横浜市笠間地域ケアプラザ
2017年12月7日	伸こう福祉会における人材確保・育成戦略 ～人づくり・経営品質向上を目指して～	足立聖子（理事長）	【老施協施設長及びデイ協センター長合同研究会】富山老施協
2017年12月13日	AED講習会	阿部輝美（クロスハート栄・横浜 介護主任）	クロスハート田谷・栄
2017年12月15日	障害者・外国人・高齢者等の介護人材の採用と活用方法	足立聖子（理事長）	【静岡県の人材確保実践セミナー】静岡県社協人材センター
2017年12月22日	障害者・高齢者・外国人介護人材の活用策	足立聖子（理事長）	【障がい者・外国人・高齢者等の「介護人材」の採用と活用手法】 総合ユニコム株式会社
2018年3月14日	老人ホームがコミュニティを形成する！河原町団地における 高齢者高密度化都市のコミュニティ拠点の取り組み	足立聖子（理事長）	【CareTEX2018】ブティック株式会社

外部委員会

かなふく人材確保・育成会議	前田みどり（事業本部）	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会
OJTを通じた介護職員の人材育成に関する調査研究	前田みどり（事業本部）	一般社団法人 シルバーサービス振興会 平成29年度老人保健健康増進等事業

¥

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

※2017年12月31日時点



利用定員数 (単位:人)

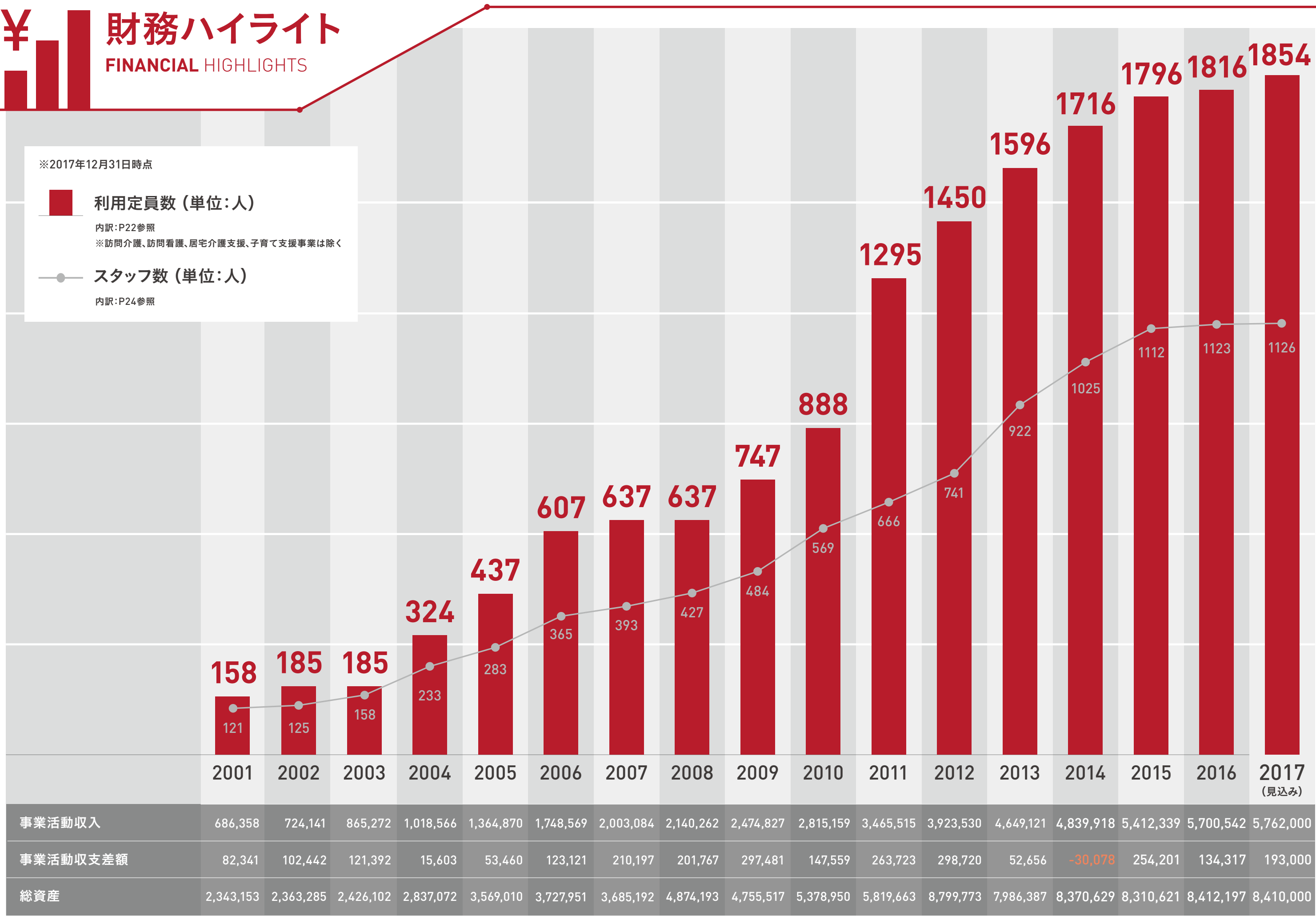
内訳:P22参照

※訪問介護、訪問看護、居宅介護支援、子育て支援事業は除く



スタッフ数 (単位:人)

内訳:P24参照



FACILITIES

施設一覧

今年度、それぞれの施設で働いたスタッフの一部をご紹介します。

保育事業

キディ鵜沼・藤沢 本園／分園



〒251-0031
神奈川県藤沢市鵜沼藤が谷1-7-8
TEL:0466-52-2345 FAX:0466-52-2346

ACCESS _____
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分



〒251-0031
神奈川県藤沢市鵜沼藤が谷1-8-16
TEL:0466-52-2370 FAX:0466-52-2380

ACCESS _____
江ノ島電鉄線「柳小路」駅より徒歩3分



キディニ子・川崎



〒213-0002
神奈川県川崎市高津区ニ子5-16-16
TEL:044-829-4567 FAX:044-829-4568

ACCESS _____
東急田園都市線「高津」駅より徒歩6分
又はJR南部線「武蔵溝の口」駅より徒歩13分



子育てキディ・洋光台



〒235-0045
神奈川県横浜市磯子区洋光台3-13-2-109
TEL:045-836-1225 FAX:045-836-1226

ACCESS _____
JR根岸線「洋光台」駅より徒歩1分、サンモール商店街内



キディ百合丘・川崎



〒215-0011
神奈川県川崎市麻生区百合丘1-16サンフラレ百合丘7-201
TEL:044-322-0510 FAX:044-322-0513

ACCESS _____
小田急小田原線「百合ヶ丘」駅より徒歩5分



キディ湘南C-X



〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台1-3-39
TEL:0466-30-3515 FAX:0466-30-3516

ACCESS _____
JR東海道線「辻堂」駅より徒歩5分



キディ古市場保育園



〒212-0052
神奈川県川崎市幸区古市場2-97-2
TEL:044-542-1711 FAX:044-542-1712

ACCESS _____
JR南武線「鹿嶋田」駅より徒歩8分



キディ石川町・横浜



〒231-0024
神奈川県横浜市中区吉浜町1-6
TEL:045-222-0880 FAX:045-222-0885

ACCESS _____
JR根岸線「石川町」駅北口より徒歩1分



キディ鈴木町・川崎



〒210-0801
神奈川県川崎市川崎区鈴木町3-2
TEL:044-246-0400 FAX:044-246-0401

ACCESS _____
京浜急行大師線「鈴木町」駅より徒歩2分



キディ元住吉・川崎



〒211-0034
神奈川県川崎市中原区井田中ノ町2-1
TEL:044-797-0900 FAX:044-797-0901

ACCESS _____
東急東横線「元住吉」駅より徒歩8分



特別養護老人ホーム事業

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市栄区公田町1020-5
TEL:045-896-1234 FAX:045-896-1235
ACCESS _____



JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル神奈中バス「湘南ハイッ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分

クロスハート野七里・栄



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-897-3456 FAX:045-897-3457
ACCESS _____



JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分又はJR根岸線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオポリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分

クロスハート幸・川崎



〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9400 FAX:044-533-9401
ACCESS _____



JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス川崎駅西口北86番(川74)乗り場から乗車「神明町」バス停下車、徒歩5分

クロスハート中・横浜



〒231-0056
神奈川県横浜市中区若葉町3-46-1
TEL:045-250-3511 FAX:045-261-0500

ACCESS _____
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩8分 又は JR根岸線「関内」駅より徒歩10分



クロスハート田谷・栄



〒244-0844
神奈川県横浜市栄区田谷町1249
TEL:045-858-3330 FAX:045-858-3331

ACCESS _____
JR線「大船」駅下車、西口バスターミナル 神奈中バス「ドリームハイッ」、「立場ターミナル」、「戸塚バスセンター」、「清泉女学院」行「田谷」バス停下車、徒歩3分



介護付有料老人ホーム事業

クロスハート湘南台・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行1-1-7
TEL:0466-41-2234 FAX:0466-41-2235
ACCESS _____



小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線
横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩15分

クロスハート石名坂・藤沢



〒251-0875
神奈川県藤沢市本藤沢1-10-14
TEL:0466-84-3033 FAX:0466-84-3031
ACCESS _____



小田急江ノ島線「藤沢本町」駅より徒歩10分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-25-1
TEL:0466-43-2700 FAX:0466-43-2701
ACCESS _____



小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市区金沢区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7223 FAX:045-791-7224

ACCESS _____
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分



クロスハート宮前・川崎



〒216-0001
神奈川県川崎市宮前区野川3240-1
TEL:044-753-2345 FAX:044-753-2346

ACCESS _____
東急田園都市線「鷺沼」駅下車、東急バス「野川台公園前」行「野川台公園前」バス停下車、徒歩5分



クロスハート二階堂・鎌倉



〒248-0002
神奈川県鎌倉市二階堂267-67
TEL:0467-61-3345 FAX:0467-61-3346

ACCESS _____
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「大塔宮」行「大塔宮」バス停下車、徒歩10分



クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-5
TEL:045-829-2345 FAX:045-829-2346

ACCESS _____
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



クロスハート本鵠沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鵠沼3-11-39
TEL:0466-35-6622 FAX:0466-35-6633



ACCESS
小田急江ノ島線「本鵠沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鵠沼車庫」行「原」バス停下車、徒歩1分

クロスハート南・横浜



〒232-0011
神奈川県横浜市中区日枝町1-5
TEL:045-260-0566 FAX:045-260-0567



ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分

クロスハート栄・横浜



〒247-0014
神奈川県横浜市中区公田町1020-5
TEL:045-896-1243 FAX:045-896-1235



ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 神奈中バス「湘南ハイツ循環」行「荒井沢公園前」バス停下車、徒歩1分

クロスハート金沢・横浜



〒236-0033
神奈川県横浜市中区東朝比奈2-54-2
TEL:045-791-7266 FAX:045-791-7224



ACCESS
京浜急行線「金沢八景」駅下車、京急バス「三信住宅」行「三信センター」バス停下車、徒歩5分

クロスハート円行・藤沢



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-13-1
TEL:0466-52-4330 FAX:0466-52-4331



ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩8分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8961 FAX:0467-53-8964



ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分

クロスハート本鵠沼・藤沢



〒251-0028
神奈川県藤沢市本鵠沼3-11-39
TEL:0466-35-8677 FAX:0466-35-6633



ACCESS
小田急江ノ島線「本鵠沼」駅より徒歩10分
又はJR東海道線「藤沢」駅下車、江ノ電バス「鵠沼車庫」行「原」バス停下車

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
TEL:045-750-5678 FAX:045-751-2322

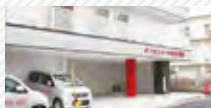


ACCESS
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市中区鶴見区矢向3-30-1
TEL:045-716-6300 FAX:045-716-6329



ACCESS
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8963 FAX:0467-53-8964



ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉霊園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」バス停下車、徒歩5分

クロスハート湘南台二番館



〒252-0805
神奈川県藤沢市円行2-25-1
TEL:0466-41-9500 FAX:0466-41-9501



ACCESS
小田急江ノ島線、相鉄いずみ野線、横浜市営地下鉄「湘南台」駅より徒歩12分

小規模多機能型居宅介護事業・看護小規模多機能型居宅介護事業

クロスハート十二所・鎌倉



〒248-0001
神奈川県鎌倉市十二所937-8
TEL:0467-53-8962 FAX:0467-53-8964

ACCESS
JR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「ハイランド循環」行「ハイランド入口」バス停下車、徒歩1分
又はJR横須賀線「鎌倉」駅下車、京急バス「鎌倉公園正門前大刀洗」行、「金沢八景」行「十二所」
バス停下車、徒歩5分



クロスハート幸・川崎



〒212-0007
神奈川県川崎市幸区河原町1-37
TEL:044-533-9410 FAX:044-533-9401

ACCESS
JR線「川崎」駅より徒歩15分又はJR線「川崎」駅下車、川崎市営バス川崎駅西口北86番(川74)乗り場
から乗車「神明町」バス停下車、徒歩5分



クロスハート鶴見・横浜



〒230-0001
神奈川県横浜市鶴見区矢向3-30-1
TEL: 045-716-6368 FAX:045-716-6329

ACCESS
JR南武線「矢向」駅より徒歩約5分



看護小規模多機能型居宅介護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
TEL:045-823-4810 FAX:045-823-4811

ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



訪問介護事業・訪問看護事業

クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜



〒244-0842
神奈川県横浜市栄区飯島町527-5-8
TEL:045-342-4455 FAX:045-342-4452

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 江ノ電バス「戸塚駅」行「飯島上町」バス停下車、徒歩5分



訪問看護 クロスハート港南・横浜



〒233-0011
神奈川県横浜市港南区東永谷1-37-4
TEL:045-823-1144 FAX:045-823-4811

ACCESS
京浜急行線、横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車、京急バス「南高校」行「桜台」バス停下車、徒歩5分



障害者グループホーム事業・就労支援事業

クロスハートハイツ東蒔田



〒232-0045
横浜市南区東蒔田町9-28
TEL:045-325-7727 FAX:045-325-7726

ACCESS
横浜市営地下鉄「蒔田」駅より
徒歩10分



クロスハートワーク戸塚



〒244-0003
神奈川県横浜市戸塚区戸塚町2487-1
TEL:045-392-7221 FAX:045-392-7226

ACCESS
JR東海道線/横須賀線/
横浜市営地下鉄「戸塚」駅下車
西口バスターミナル5番のりば
神奈中バス「大船駅西口」(戸72)
「長久保」バス停下車、徒歩5分

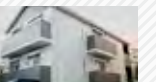


クロスハートハイツ南太田



〒232-0006
横浜市南区南太田3-22-12
TEL:045-309-7370 FAX:045-309-7371

ACCESS
京浜急行線「井土ヶ谷」駅より
徒歩10分



地域ケアプラザ事業

横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ



〒235-0023
神奈川県横浜市磯子区森4-1-17
TEL:045-750-5411 FAX:045-751-2322

ACCESS
京浜急行線「屏風浦」駅より徒歩5分

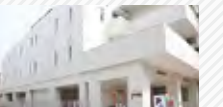


横浜市野七里地域ケアプラザ



〒247-0024
神奈川県横浜市栄区野七里1-2-31
TEL:045-890-5331 FAX:045-890-5332

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口ターミナル 神奈中バス「上之」行「犬山南」バス停下車、徒歩8分
又はJR京浜東北線「港南台」駅下車、神奈中バス「上郷ネオボリス」行「西ヶ谷」バス停下車、徒歩5分



伸こう福祉会本部

本部



〒232-0011
神奈川県横浜市南区日枝町1-5 4階
TEL:045-260-0568 FAX:045-260-0570

ACCESS
京浜急行線「黄金町」駅より徒歩5分
又は横浜市営地下鉄「吉野町」駅より徒歩5分



介護総合案内所



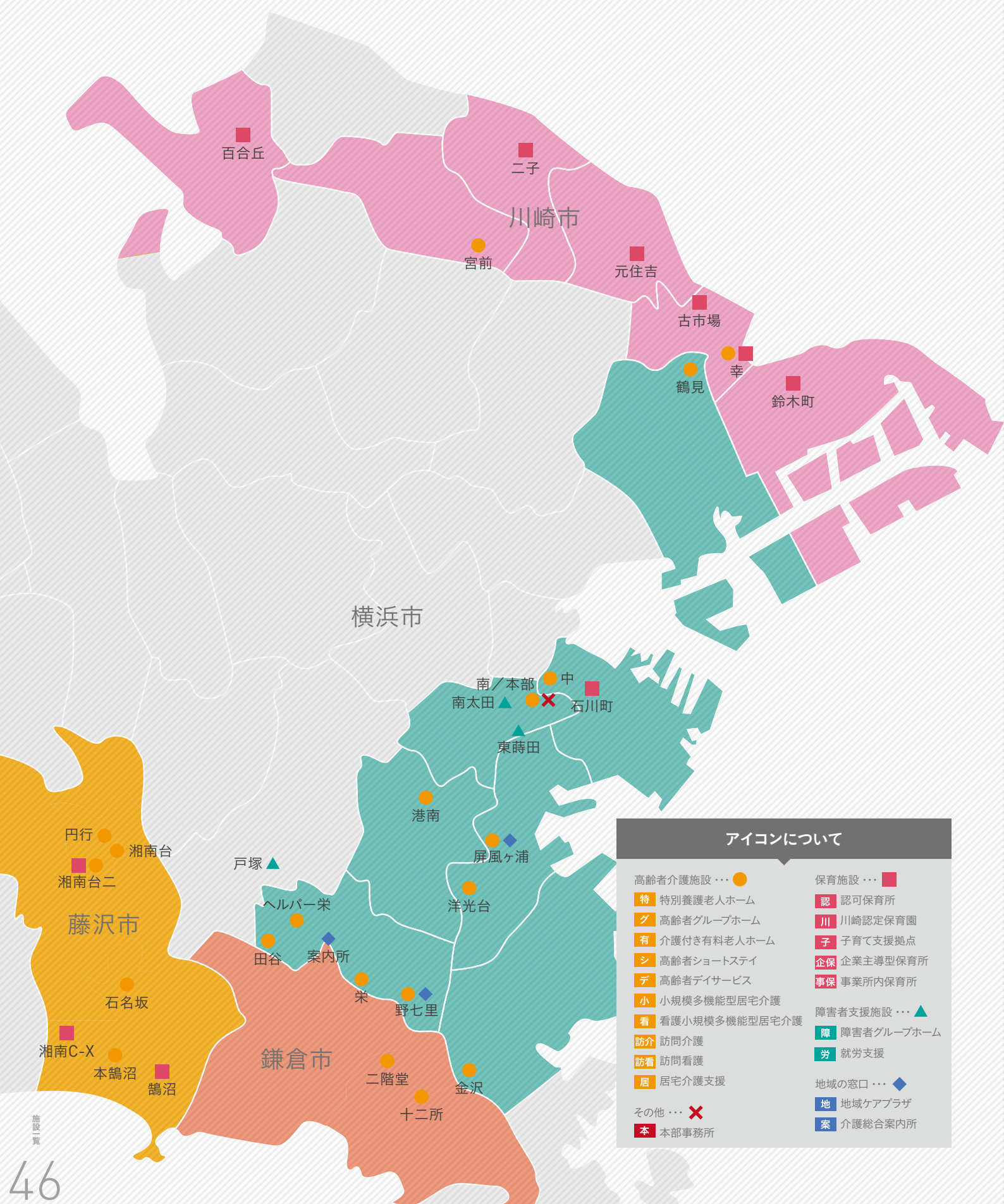
〒247-0014
横浜市栄区公田町251-6
TEL:045-890-6116 FAX:045-890-6115

ACCESS
JR線「大船」駅下車、東口バスターミナル 1～4番乗り場(「戸塚駅」行・「平島」行以外)から乗車、
「鎌倉女子大前」バス停下車、徒歩3分



MAP

伸こう福祉会事業所マップ



アイコンについて			
高齢者介護施設・・・	●	保育施設・・・	■
特 特別養護老人ホーム		認 認可保育所	
グ 高齢者グループホーム		川 川崎認定保育園	
有 介護付き有料老人ホーム		子 子育て支援拠点	
シ 高齢者ショートステイ		企保 企業主導型保育所	
デ 高齢者デイサービス		事保 事業所内保育所	
小 小規模多機能型居宅介護		障害者支援施設・・・	▲
看 看護小規模多機能型居宅介護		障 障害者グループホーム	
訪介 訪問介護		労 就労支援	
訪看 訪問看護		地域の窓口・・・	◆
居 居宅介護支援		地 地域ケアプラザ	
その他・・・	✕	案 介護総合案内所	
本 本部事務所			

川崎市		太字部分を地図上に記載しています。			
麻生区	キディ百合丘・川崎	認			
宮前区	クロスハート宮前・川崎	グ			
高津区	キディ二子・川崎	川			
中原区	キディ元住吉・川崎	認			
幸区	キディ古市場保育園 クロスハート幸・川崎	特	シ	小	認 事保
川崎区	キディ鈴木町・川崎	認			
横浜市					
鶴見区	クロスハート鶴見・横浜	グ	小		
中区	クロスハート中・横浜 キディ石川町・横浜	グ	認		
南区	クロスハート南・横浜 本部事務所 クロスハートハイツ南太田 クロスハートハイツ東蒔田	グ	本 障 障		
磯子区	横浜市屏風ヶ浦地域ケアプラザ 子育てキディ・洋光台	デ	居	地 子	
港南区	クロスハート港南・横浜	グ	看	訪看	
戸塚区	クロスハートワーク戸塚	労			
栄区	クロスハート・ヘルパーステーション栄・横浜 クロスハート田谷・栄 介護総合案内所 クロスハート栄・横浜 クロスハート野七里・栄 横浜市野七里地域ケアプラザ	訪介 グ 案 特シデ 特シ 居地			
金沢区	クロスハート金沢・横浜	グ	デ		
鎌倉市					
クロスハート二階堂・鎌倉		グ			
クロスハート十二所・鎌倉		グ	デ	小	
藤沢市					
クロスハート円行・藤沢		グ			
クロスハート湘南台・藤沢		有			
クロスハート湘南台二番館		有	シ	デ	企保
クロスハート石名坂・藤沢		有		シ	
キディ湘南C-X		認			
クロスハート本鵜沼・藤沢		グ	デ		
キディ鵜沼・藤沢 本園／分園		認			

ご寄付のお願い

伸こう福祉会は、地域の皆さまが安心した日常生活を地域社会において営むことができるように、「第一種社会福祉事業」、「第二種社会福祉事業」を主とした活動を行う社会福祉法人です。皆さまの善意によるご寄付は、更なる福祉サービスの発展、充実に向けた活動への力強い後押しとなります。伸こう福祉会の理念・事業方針・事業計画等に共感いただける方からの幅広いご支援をお願いしております。

ご寄付の方法

お近くの事業所又は本部事務所で受け付けております。スタッフにお声がけいただくか、お電話にてお問合せ下さい。

遺贈によるご寄付

「遺贈」とは、遺言を残し自分の財産を特定の人に分け与えることです。受取人として、「社会福祉法人伸こう福祉会」とご指定いただくことで、大切な方やご自身の遺産を地域福祉の発展に役立てることが可能となります。

お振込先

金融機関 横浜銀行 茅ヶ崎支店(631)
口座種別 普通
口座番号 1663189
名義人 (フク)シンコウフクシカイ

ご寄付の手続きに関する問い合わせ先

社会福祉法人伸こう福祉会 経理担当
〒232-0011 横浜市内南区日枝町1-5 4階
伸こう福祉会本部事務所
TEL: 045-260-0568
FAX: 045-260-0570